

防災マップ



災害から身を守るためには、まず、自分の住むまちの災害の地域性を知り、具体的に災害のイメージを持つことが重要です。

この“富士市防災マップ”は、災害危険箇所（ハザード）を確認するだけのものではなく、各ご家庭や地域において、災害に備えるための話し合いの資料としてご活用ください。

目次

I 富士市の自然災害

地震	1~3
液状化	4
津波	5・6
大雨による災害	7~15
火山(富士山)	16・17

II 防災対策

大規模地震発生時の富士市の被害イメージ	18
地震災害の避難と自主防災活動	19
市指定避難所一覧	20
わが家の安全対策	21・22
災害時の医療救護	23
災害・緊急支援情報キット	24
災害図上訓練DIGのすすめ	25~28
非常用備蓄品・非常用持ち出し品	29

III 防災マップ

凡例・索引図	30
防災マップ(A~J)	31~50

地震

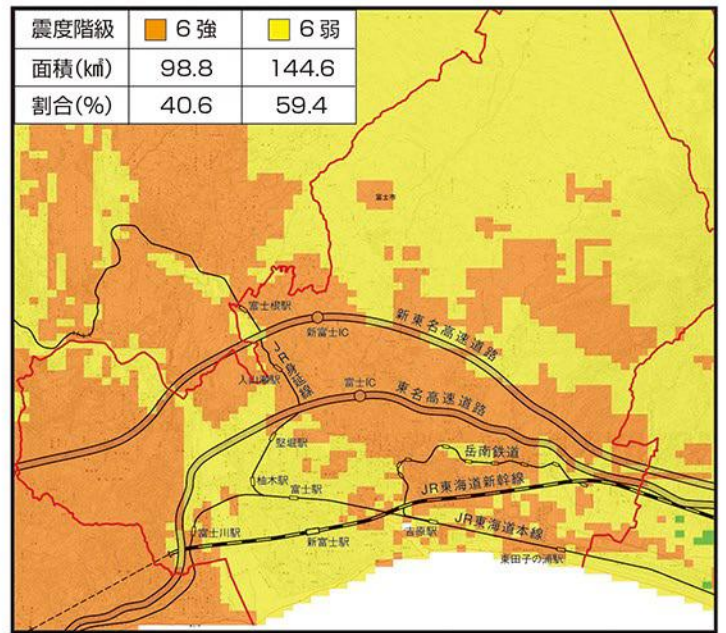
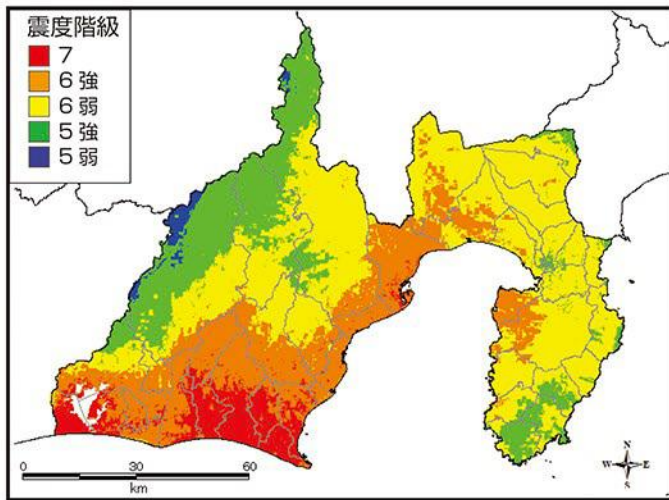
富士市の震度分布(静岡県第4次地震被害想定より)

南海トラフ地震により市内で想定される地震の揺れは下図のとおりです。富士市は、過去に観測された揺れに比べ、はるかに大きい震度6弱～6強の、身動きが取れないような揺れに見舞われます。また、東日本大震災のように、強弱を繰り返しながら最大3～4分間継続すると想定されています。

身を守ることもできないような揺れに備えるためには、**家屋や家具・家電の耐震対策が必要です。**

→木造家屋の耐震対策についてはP21

→家具の転倒等でケガをしない方法についてはP22



震度区分別面積集計表(静岡県内)

推定震度	7	6強	6弱	5強	5弱	4以下	合計
面積(km ²)	658.6	1,952.4	3,510.3	1,509.9	84.8	0.0	7,716
割合(%)	8.5	25.3	45.5	19.6	1.1	0.0	100.0

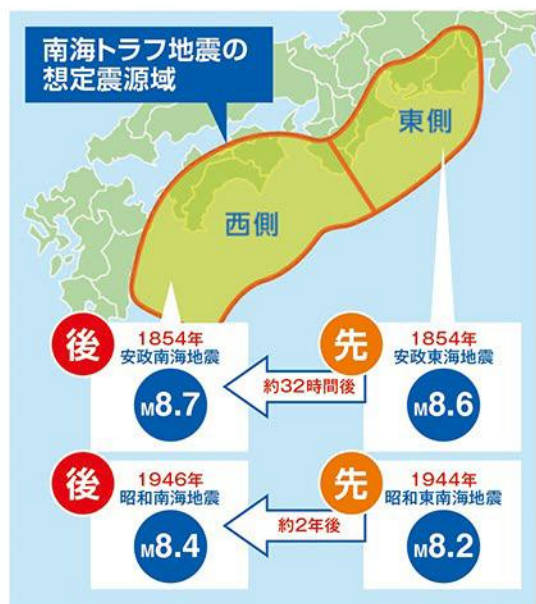
【参考】静岡県統合基盤地理情報システム(ご覧になりたい場所を拡大して見ることができます。) URL <http://www.gis.pref.shizuoka.jp/>

震 度 階 級

<p>【震度0】 人は揺れを感じない。</p>	<p>【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p>【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p>【震度4】 ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。</p> <p>2009年(平成21年)8月11日5時7分 駿河湾地震の富士市の震度</p> <p>2011年(平成23年)3月11日14時46分 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の富士市の震度</p>	<p>【震度5弱】 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものも倒れることがある。</p> <p>2011年(平成23年)3月15日22時31分 静岡県東部地震の富士市の震度</p>	<p>【震度6弱】 ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</p>	<p>【震度6強】 ●はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</p>
<p>【震度5強】 ●物につかまらなると歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>	<p>【震度7】 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</p>		

南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフでは、想定震源域の東側と西側で時間差で、大規模地震が発生した事例が複数回あります。



図：過去の南海トラフ地震(Mはモーメントマグネチュード)

南海トラフ地震臨時情報(以下、「臨時情報」といいます)は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、想定震源域内で大規模地震や地殻変動など異常な現象が観測された場合に、気象庁より発表されます。

例えば、過去の事例とは逆に南海トラフ沿いの西側で先に大規模地震が発生し、東側でも地震が続発する(後発地震)可能性が高まった場合などに発表されます。

臨時情報が発表された際は、後発地震に備え、国や市からの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

1854年安政東海地震と安政南海地震

南海トラフの東側で地震が発生した約32時間後に、西側でも地震が発生

1944年昭和東南海地震と昭和南海地震

南海トラフの東側で地震が発生した約2年後に、西側でも地震が発生

臨時情報が発表される「異常な現象」とは

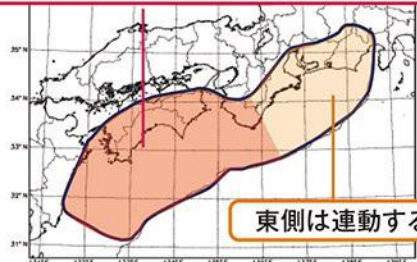
臨時情報が発表される異常な現象には、「半割れケース」「一部割れケース」「ゆっくりすべりケース」の3通りがあります。

半割れ(大規模地震M8.0以上)/被害甚大ケース

〈評価基準〉

- 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合

南海トラフの西側でM8クラスの地震が発生



半割れケースにおいて、7日以内に大規模な後発地震が発生する頻度は十数回に1回程度(過去の事例では、103事例中7事例あり)で、通常の100倍程度の確率。

※通常「30年以内に70~80%」の確率を7日以内に換算すると千回に1回程度

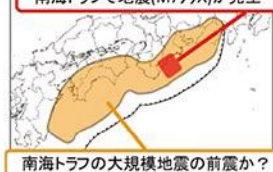
南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表

一部割れ(前震可能性地震M7.0以上8.0未満)/被害限定ケース

〈評価基準〉

- 南海トラフの想定震源域及びその周辺においてM7.0以上の地震が発生した場合(半割れケースの場合を除く)

南海トラフで地震(M7クラス)が発生

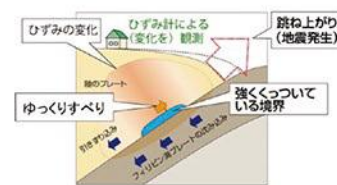


一部割れケースにおいて、7日以内に大規模な後発地震が発生する頻度は数百回に1回程度(過去の事例では、143事例中6事例あり)で、通常の数倍程度の確率。

ゆっくりすべり/被害なしケース

〈評価基準〉

- ひずみ計等で有意な変化として促えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表

南海トラフ沿いで発生した異常な現象に応じて、以下の情報が発表されます。

南海トラフ地震臨時情報	調査中	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	巨大地震注意	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等 ※情報発表後7日以内に、南海トラフ沿いで巨大地震が発生する確率は通常の数倍程度の状態
	巨大地震警戒	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合 ※情報発表後7日以内に、南海トラフ沿いで巨大地震が発生する確率は通常100倍程度の状態
	調査終了	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

南海トラフ沿いでの地震発生後の対応の流れ

南海トラフ地震が発生したら・・・ **地震発生** 揺れを感じたらまず身を守る行動を

家庭で

頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる

屋外で

ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる

沿岸部で

津波避難対象区域内の住民は全員避難する

南海トラフ想定震源域またはその周辺で M6.8以上の地震が発生

南海トラフ想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性

発生から5分～30分後

南海トラフ地震臨時情報(調査中)

プレート境界のM8.0以上の地震

M7.0以上の地震

ゆっくりすべり

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)

- 日頃からの地震への備えを再確認する
- 津波避難対象区域内の避難に時間のかかる人は避難を継続する

高齢者等事前避難対象区域とは
 富士市では、後発地震に伴う津波に備えて、事前に避難することにより、安全性を高めることを目的に津波避難対象区域内(浸水域+バッファゾーン)を高齢者等事前避難対象区域として定めています。臨時情報(巨大地震警戒)発表時、この区域に住む高齢者等避難に時間がかかる人を対象に避難を呼びかけます。

- 日頃からの地震への備えを再確認する等

警戒措置を解除し、さらに1週間地震への注意措置をとる

- 地震の発生に注意しながら通常の生活を送る **ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意**

■ 日頃からの地震への備えを再確認する

■ 地震の発生に注意しながら通常の生活を送る **ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意**

※ゆっくりすべりが観測された場合はそれが収まったと評価されるまで

富士川河口断層帯



富士川河口断層帯は、富士川の河口周辺からほぼ南北に延びる活断層帯です。

調査により推定される位置は図のとおりで、マグニチュード8.0程度の地震を引き起こす可能性があると考えられていますが、活動間隔や地下構造についてはほとんど分かっていません。

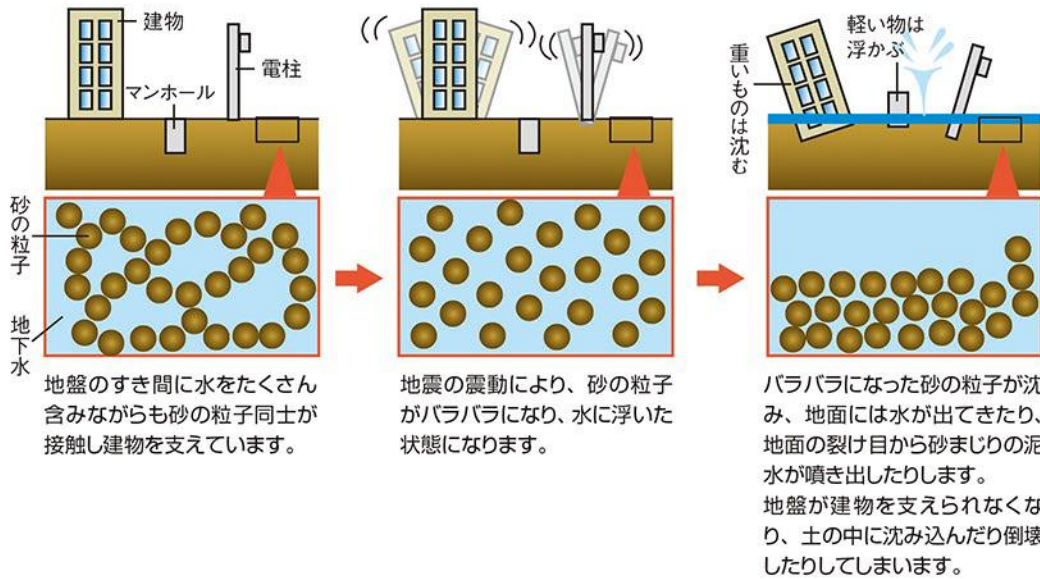
平均活動間隔等は下表に示す、ケースa、ケースbの2つの見解があり、その2つを下限、上限とする範囲内の値となる可能性があると考えられています。

	ケースa	ケースb
過去の平均活動間隔	約150年～300年	約1,300年～1,600年
過去の地盤隆起量 (西側が東側に対して相対的に隆起する量)	1～2m程	10m程度
今後30年以内の地震の発生確率	10～18%	2～11%

富士川河口断層帯の近くにお住まいの方はもちろんですが、それ以外にも、発見されていない断層は数多く存在すると言われていたため、強い揺れに対する十分な備えは、全ての市民の皆さん共通の課題です。

液状化

地下水位が高く、緩い砂質で構成される地盤では、地震発生と同時に液状化という現象が起きることがあります。液状化が発生すると、マンホールや貯水槽が押し上げられ、緊ぎ目が破損したり、地盤沈下により建物が傾いたりすることがあります。



▲ 押し上げられたマンホール

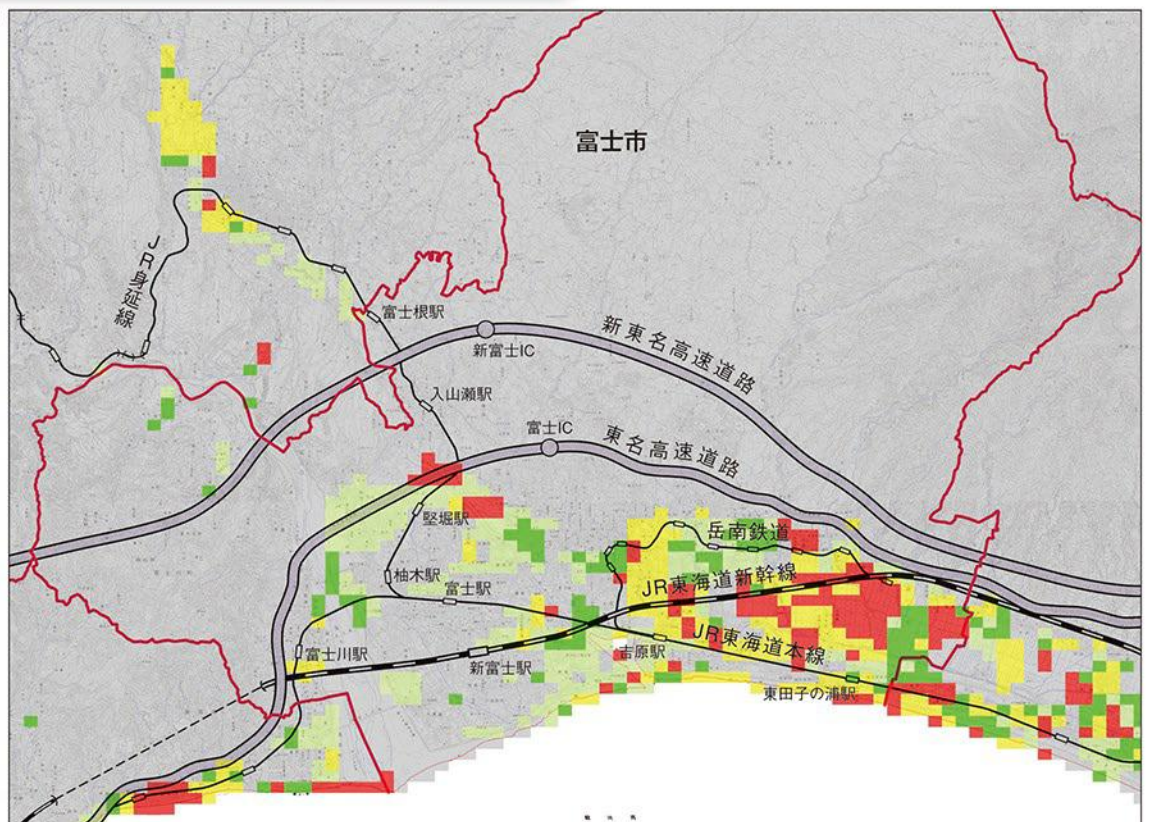


▲ 地盤沈下により傾いた交番

液状化可能性マップ (静岡県第4次地震被害想定から)

液状化可能性ランク

- 大
- 中
- 小
- なし
- 対象外



【参考】静岡県統合基盤地理情報システム(ご覧になりたい場所を拡大して見ることができます。) URL <http://www.gis.pref.shizuoka.jp/>

液状化対策

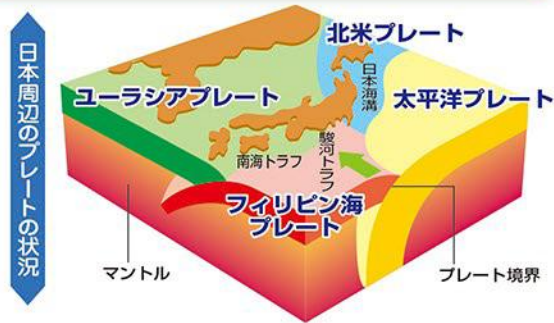
液状化の可能性のある地域では、建物を支える地盤に対策工事を行う必要がある場合もあります。また、上下水道設備に被害が及ぶことも想定されますので、飲料水や携帯トイレの備蓄も必要になります。

→各家庭での非常用備蓄品についてはP29

津波

東日本大震災では、数々の津波災害の映像が報道されました。これにより、富士市を襲う津波も、東日本大震災と同じ津波をイメージしてしまいがちです。しかし、襲う津波にも“地域性”があります。富士市を襲う津波の特徴とはどのようなものなのでしょうか。

津波発生メカニズム



東日本大震災との比較から学ぶ富士市の津波の特徴



東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)を引き起こしたプレート境界(日本海溝)と東北地方の太平洋沿岸は「ほぼ平行」の位置関係にあります。一方、南海トラフ地震(東海地震)を引き起こすと想定されている南海トラフ(駿河トラフ)と富士海岸の位置関係は、ほぼ垂直です。

津波は、プレート境界に対して、平行な位置関係にある海岸で高くなる特徴があるため、東日本大震災では甚大な津波被害がもたらされました。一方、駿河湾内で発生した津波も、平行方向に伸びる海岸では高くなりますが、垂直方向に伸びる富士海岸では、高くなりにくい傾向があります。

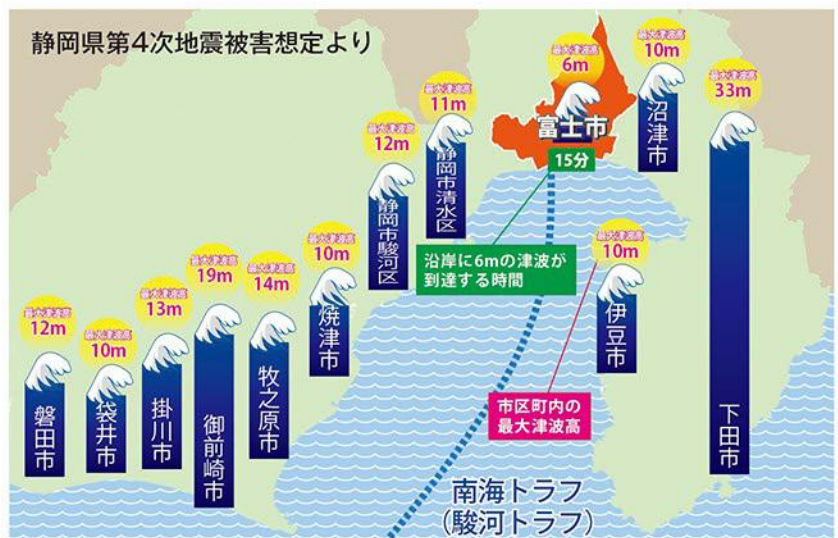
次に到達時間の特徴です。東日本大震災では、陸地から離れた沖合いを震源域にして地震が発生したため、津波到達まで比較的時間の余裕がありました。

一方、南海トラフ地震(東海地震)は私たちの暮らすすぐ近くを震源に発生するため、津波が発生する場所も陸地の近くになります。このことから、地震発生から津波到達までの時間は非常に短くなることが想定されています。

富士市の津波の特徴

高くなりにくいですが、**到達時間が非常に短い!**

沿岸への到達時間 1m:3分 6m(最大波):15分



富士市の津波浸水の特徴

富士市は、海岸付近に海拔8m以上の高台が広がる特殊な地形をしているため、津波は海岸線からではなく、田子の浦港から入り、港や周辺の河川から浸水すると想定されています。

このため、場所によっては海に向かって避難する方が津波避難対象区域から出やすい場合もあります。

富士市の津波避難対象区域

津波浸水想定区域とその周辺50m (バッファゾーン)

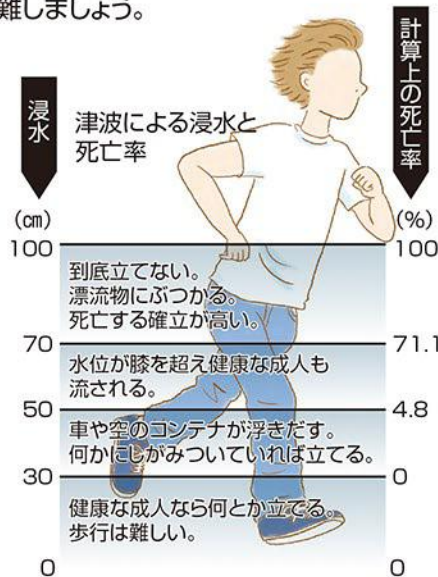
※津波避難対象区域はP31以降でご確認ください。



津波からの避難

津波避難の原則は、“津波避難対象区域から出る”ことです。津波からの避難先を考える際、津波避難ビル・タワーへの避難を思い浮かべる方も多いですが、建物への避難は、揺れによる被害や津波火災等によるリスクを伴います。あくまでも、津波避難対象区域から出ることを最優先とし、津波避難ビル・タワーへの避難は、時間的な猶予がない場合の最終手段と考えてください。また富士市は、津波の到達時間が非常に短いため、あらかじめ各自で避難目標地点を設定しておきましょう。

なお、津波の浸水深が50cmでも、人は簡単に流されてしまいます。さらに、1mの津波に巻き込まれると、死亡率はほぼ100%とされています。万が一、逃げ遅れた場合には、近くの建物の上層階に避難しましょう。



津波注意報・警報の種類

富士市では、津波警報等が発表された場合、“避難指示”を発令します。しかし、大きな揺れを感じたら、情報を待たずに避難を開始しましょう。



富士市津波避難マップ



平成26年4月、津波浸水想定区域等がある元吉原地区、田子浦地区、今泉地区の一部に富士市津波避難マップを配布しました。

また、これらのマップは、富士市ウェブサイトでご覧いただけます。

平常時から避難目標地点や避難経路を確認し、防災訓練には実際に避難目標地点への避難訓練を取り入れましょう。

大雨による災害

知っておきたい!情報の意味

大雨時に富士市や気象庁から発信される避難や気象に関する情報は、5段階の「警戒レベル」を用いて市民の皆さんへ伝達します。意味をあらかじめ理解しておきましょう。

「警戒レベル」ととるべき行動

警戒レベル	とるべき行動等	富士市が発令する避難情報	<※防災気象情報>
警戒レベル 5	命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難場所へ避難しましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 近隣や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)と支援者は避難しましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。		氾濫注意情報 洪水注意報 等
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報

※防災気象情報は、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

気象に関する情報

大雨による浸水や土砂災害は、突然起こる地震と違い、雨の降り方や気象情報、河川の水位情報等から事前に避難することが可能です。これらの情報を有効に活用し、大雨による災害から命を守りましょう。なお、気象注意報・警報は、「富士市に●●警報が発表されました」と市町を特定して発表されますが、広い範囲に同じ情報が出された場合、テレビ等では、「静岡県東部に」「富士山南西に」と報道されることもあります。

土砂災害	浸水害	洪水害
<p>大雨注意報</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがある。 雨がやんでも、土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続する。 <ul style="list-style-type: none"> →豪雨災害における避難についてはP9 →豪雨に関する情報収集についてはP8 		<p>洪水注意報</p> <p>河川の上流域での大雨や融雪によって下流域で洪水害(河川の増水や堤防の損傷による浸水害)が発生するおそれがある。</p>
<p>大雨警報</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがある。 雨がやんでも重大な土砂災害等のおそれが残っている場合には発表を継続する。 <p>土砂災害警戒情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨警報が発表されている状況で、さらに大雨が降り、土砂災害の危険性が高まったときに発表される。 市は、土砂災害警戒情報の発表を受け、市内の土砂災害の危険区域に避難指示を発令する。 		<p>洪水警報</p> <p>河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害(河川の増水や堤防の損傷による浸水害)が発生するおそれがある。</p>
		<p>大雨特別警報</p> <p>台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨になるおそれがある。雨がやんでも重大な災害のおそれが著しく大きい場合には発表を継続する。</p>

※大雨特別警報は、都道府県程度の広い範囲での大雨を対象としているため、局所的な大雨(ゲリラ豪雨)では発表されません。

豪雨に関する情報収集について

気象情報の収集手段には様々なものがあります。停電などを想定して、複数の情報収集手段を確保しておきましょう。

◎テレビを使った情報収集



テレビのリモコンのdボタンを押すとデータ放送が閲覧できます。市内の10分ごとの降水量や河川の水位、発表されている注意報・警報、指定緊急避難場所の開設状況などが表示されます。

テレビ局によって表示内容が異なりますので、日頃からご確認ください。

◎同報無線を使った情報収集



大雨警報や土砂災害警戒情報等が発表された場合、Jアラート(全国瞬時警報システム)により瞬時に同報無線放送を行います。しかし、豪雨時は雨音で聞き取りにくくなるのが想定されますので、放送内容を自宅で聞くことができる「富士市防災ラジオ」の準備や携帯電話等で受信できる「富士市メールサービス(同報無線情報)」の登録をしておきましょう。

富士市防災ラジオ

テレビだけでは、停電が発生した場合に情報を集められなくなるおそれがあります。富士市防災ラジオ等と予備の乾電池を用意しておきましょう。



同報無線の放送内容を聞くことができるほか、一般のラジオ放送も聞くこともできます。

Radio 84.4fm

ラジオエフ(FM84.4)では、富士・富士宮地域に密着した災害情報を入手できます。

富士市メールサービス(同報無線情報)

同報無線の放送内容(火災以外)をメールで受信することができます。

下記のアドレスに件名や本文を入れずにメールを送信し、送られて来るメールに従って登録作業をしてください。



★同報無線情報登録用メールアドレス
t-fuji@sg-m.jp

※迷惑メールフィルターをかけている場合、ドメイン名「city.fuji.shizuoka.jp」からのメール受信をあらかじめ許可してください(@は付けずに登録してください。)



◎パソコンを使った情報収集

静岡県土木総合防災情報「サイボスレーダー」

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



静岡県の気象情報、雨量、河川水位、観測地点のライブカメラ映像など

国土交通省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/>



国土交通省が提供する雨量・河川水位・ライブカメラ映像など

気象庁「キキクル(危険度分布)」

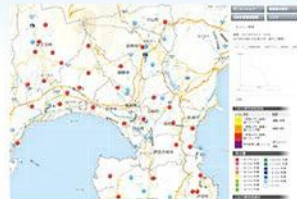
<http://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



雨雲の動き、土砂災害、浸水害、洪水の危険度など

静岡県「土砂災害警戒情報」

<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>



土壌雨量指数、土砂災害危険度

豪雨災害における避難について

豪雨時の避難は、タイミングや災害の進展状況によって、一律に市指定避難所に避難すれば良いというものではありません。災害発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

豪雨災害

洪水害

- 浸水想定区域・浸水深の確認 (P11~参照)
- 避難先の確保 (危険区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報を収集

浸水前の早い段階で浸水想定区域外に避難することが最も安全

浸水想定区域



浸水想定区域外

- 親戚・知人宅
- 町内会(区)の公会堂
- 自家用車の中
- [開設されている場合]
- 地区まちづくりセンター
- 市指定避難場所

避難!

土砂災害

- 危険箇所の確認 (P31以降確認)
- 避難先の確保 (危険区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や今後の雨の降り方などの情報を収集、土砂災害の前兆現象に注意

風雨が強まる前の早い段階で土砂災害の危険区域外に避難することが最も安全



避難!

避難!

土砂災害危険区域外

- 親戚・知人宅
- 町内会(区)の公会堂
- 自家用車の中
- [開設されている場合]
- 地区まちづくりセンター

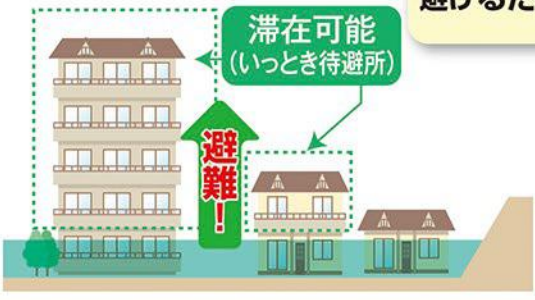
危険区域外への避難

水平避難

情報収集により、早めに危険区域から出る事が大原則ですが、浸水が始まったり、風雨が強まったりした中、屋外に出ることは危険が伴います

屋外での被災を避けるための避難

垂直避難



滞在可能 (いっとき待避所)

避難!

- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上の上層階



避難!

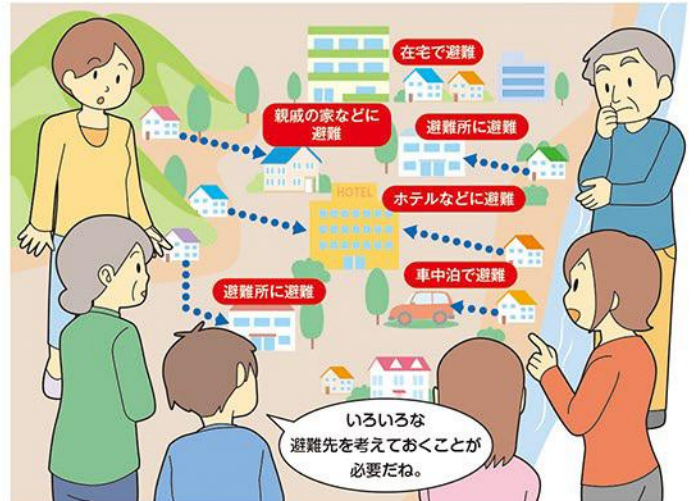
- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上
- かけ崩れ・土石流が襲ってくる方向からできる限り離れた部屋

風水害時の避難場所

避難する先は、公的な避難場所・避難所にこだわる必要はありません。各家庭の状況に応じて「親戚・知人宅」「ホテル・旅館」「車中泊」「自宅(在宅避難)」など、感染症対策も含めたさまざまな災害から命を守ることができる避難先を想定し、地域の人たちが分散避難することが大切です。

◎早期避難場所

台風や大雨により、市内で河川洪水や土砂災害などのおそれがある場合に、風雨が強まる前や日没前の早い段階で地区まちづくりセンターを「早期避難場所」として開設します。降雨や河川水位などの情報をもとに、早めの避難を心がけてください。まちづくりセンターは、土砂災害の緊急避難場所も兼ねています。



施設	想定浸水深			施設	想定浸水深			施設	想定浸水深		
	富士川	潤井川	小潤井川		富士川	潤井川	小潤井川		富士川	潤井川	小潤井川
吉原 まちづくりセンター	—m	0.3m	1.0m	原田 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士南 まちづくりセンター	1.3m	—m	—m
伝法 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士見台 まちづくりセンター	—m	—m	—m	岩松北 まちづくりセンター	2.4m	—m	—m
今泉 まちづくりセンター	—m	—m	—m	神戸 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士川 まちづくりセンター	—m	—m	—m
青葉台 まちづくりセンター	—m	—m	—m	吉永北 まちづくりセンター	—m	—m	—m	松野 まちづくりセンター	—m	—m	—m
吉永 まちづくりセンター	—m	—m	—m	大淵 まちづくりセンター	—m	—m	—m	鷹岡 まちづくりセンター	—m	—m	—m
元吉原 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士駅北 まちづくりセンター	1.5m	—m	—m	広見 まちづくりセンター	—m	—m	—m
須津 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士駅南 まちづくりセンター	0.7m	—m	—m	天間 まちづくりセンター	—m	—m	—m
浮島 まちづくりセンター	—m	—m	—m	田子浦 まちづくりセンター	2.7m	0.4m	—m	丘 まちづくりセンター	—m	—m	—m

※岩松まちづくりセンター、富士北まちづくりセンターは、河川洪水による危険性が高い施設のため、開設しません。

(岩松まちづくりセンター:富士川の想定浸水深が3.0m(2階床面相当)以上、富士北まちづくりセンター:潤井川の家屋倒壊危険ゾーン内)

※施設が浸水想定区域内にある場合は、施設の上層階に避難してください。

◎洪水時車いっとき避難場所

洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された際に、感染症への不安などから危険区域からの避難を躊躇しないよう、車による一時的な滞在場所として開設します。開設する3施設は洪水浸水想定区域外ですが、事前に安全な避難経路を確認し、避難経路の道路冠水など危険が伴う状況での移動は避けましょう。

施設名
富士総合運動公園駐車場A
富士西公園駐車場
富士信用金庫研修センター東側駐車場

◎風水害時の緊急避難場所

洪水、土砂災害等の災害の危険が切迫した状況において、緊急に避難する場合の場所や施設です。河川ごとに発表される洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された後に、浸水が想定される地区内の学校施設を風水害時の「緊急避難場所」として開設します。河川ごとに開設される施設が異なりますので、事前にP12～P14を確認してください。

避難場所を決めるために

浸水継続時間を、ふじタウンマップ(P11参照)で確認しましょう。浸水してから水が引くまでに2日間(48時間)以上かかる場所もあります。

浸水してしまうと、電気・ガス・水道・トイレなどが使えない状況で長時間生活することになります。垂直避難をする場合、2階以上に水・食料・防寒用品・携帯トイレなどを備蓄しておくことが必要です。市指定緊急避難場所へ避難する際も、非常持ち出し品として持参してください。

パソコン・スマートフォンを使った浸水想定の確認方法について

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

洪水の浸水想定について、自宅や会社など指定した地点に影響を与える破堤点を確認することや、浸水到達時間をアニメーションやグラフで確認することができます。



防災アプリ(静岡県防災)

静岡県では令和元年6月1日から、スマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始しました。各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えています。



アプリインストール

11の外国語に対応

防災アプリの役立つ機能

防災訓練にも オススメ!

防災情報・お知らせ
緊急防災情報をいつでも確認!

マップ・避難場所等
地域の危険性や避難先を把握!

危険度体験
浸水状況をビジュアルで確認!

避難トレーニング
避難を開始してから避難先までの経路や時間を記録します

訓練後にトレーニングした経路の再生ができ、津波の浸水状況を重ねることもできます。

現在地の防災情報
現在地の危険度がわかる!

学習コンテンツ
防災知識を学んでテスト!

安否登録 設定メニューからGoogleパーソンファインダ安否登録が可能です。

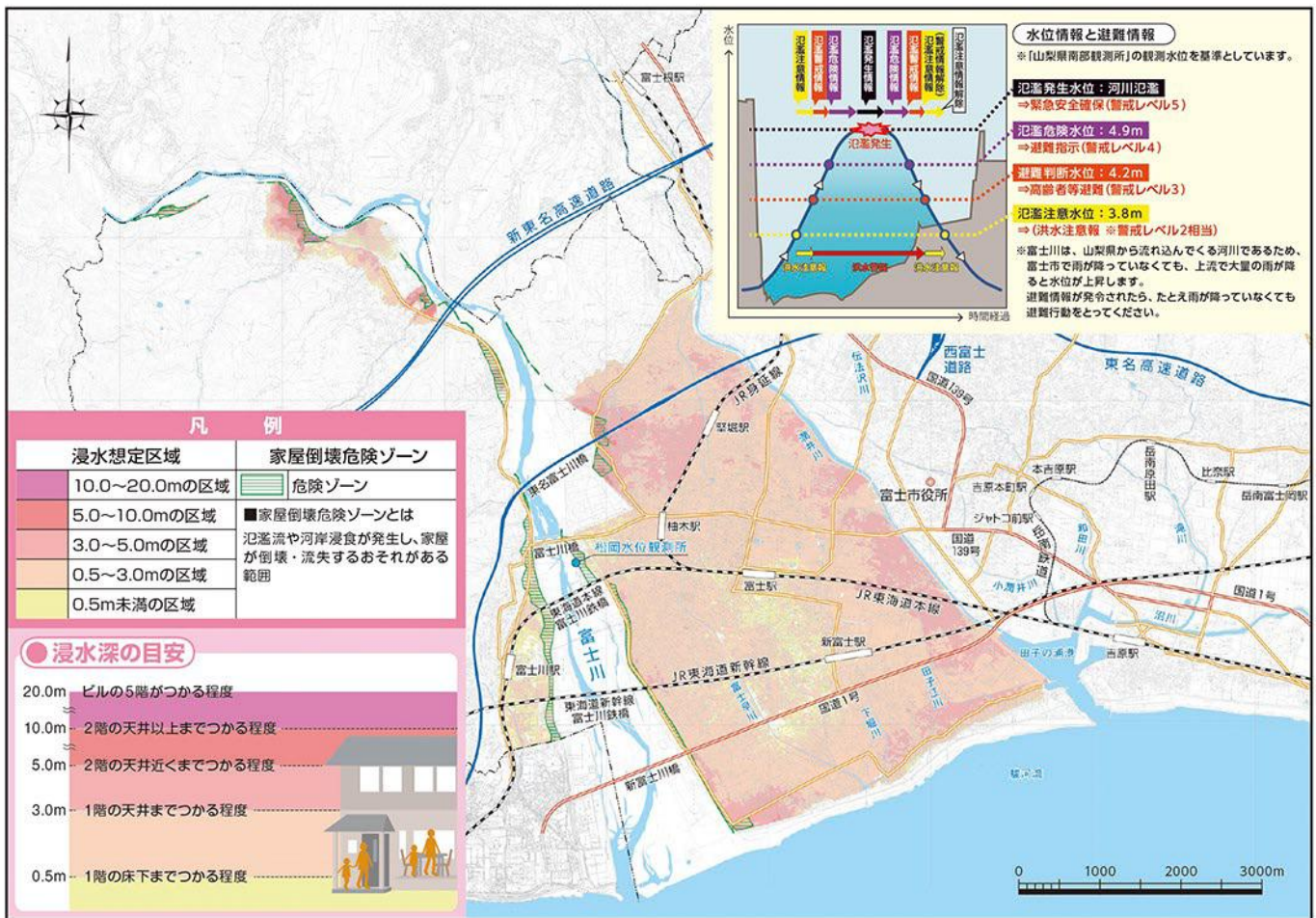
風水害以外も 自宅周辺の 災害危険度をすべて 確認したい。

ふじタウンマップ

自宅や会社周辺の災害想定は、パソコンまたはスマートフォンで「ふじタウンマップ」を使用すると、住所から簡単にハザードマップを確認することができます。洪水浸水想定区域図のほか、浸水継続時間、土砂災害(特別)警戒区域、津波浸水想定区域図、液状化危険度、防災関連施設なども確認できます。

富士川浸水想定区域図

この図は、富士川下流域で想定される最大規模の降雨(48時間雨量565ミリ)により、富士川が氾濫した場合の浸水が予想される範囲やその深さ、家屋倒壊危険ゾーンを表したものです。



緊急避難場所 【富士川洪水】

富士川洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発令された後に、浸水が想定される9地区内の以下の学校施設を「緊急避難場所」として開設します。

※富士川の洪水浸水想定地区:富士駅北、富士北、富士駅南、田子浦、富士南、岩松、岩松北、富士川、松野

施設名	住所	想定浸水深				施設名	住所	想定浸水深			
		富士川	潤井川	小淵井川	沼川			富士川	潤井川	小淵井川	沼川
富士第一小学校	本市場 280-2	1.9m	—m	—m	—m	田子浦小学校	中丸 98	2.4m	0.5m	—m	—m
富士見中学校・高等学校	平垣町 1-1	2.0m	—m	—m	—m	田子浦中学校	中丸 411	2.5m	0.3m	—m	—m
富士中学校	中島 320	2.1m	—m	—m	—m	岩松小学校	松岡 850	4.0m	—m	—m	—m
富士中央小学校	米之宮町 295	2.1m	1.0m	—m	—m	岩松北小学校	岩本 123-1	2.4m	0.4m	—m	—m
富士高等学校	松本 17	2.1m	0.8m	—m	—m	富士川第一小学校	岩淵 107	—m	—m	—m	—m
富士第二小学校	横割 1-8-1	0.6m	—m	—m	—m	富士川第二小学校	北松野 1959	—m	—m	—m	—m
富士南小学校	宮下 551	1.0m	—m	—m	—m	富士川第二中学校	北松野 1963-6	—m	—m	—m	—m
富士南中学校	森島 550	1.1m	—m	—m	—m						

※岩松中学校、富士川第一中学校、富士川体育館は、河川洪水による危険性が高い施設(家屋倒壊危険ゾーン内)のため、富士川の洪水警戒時には開設しません。

詳細な浸水想定区域図や、洪水からの避難についてまとめた「富士川逃げどきマップ」を作成し、対象世帯に配布しました。富士市ウェブサイトから閲覧できます。



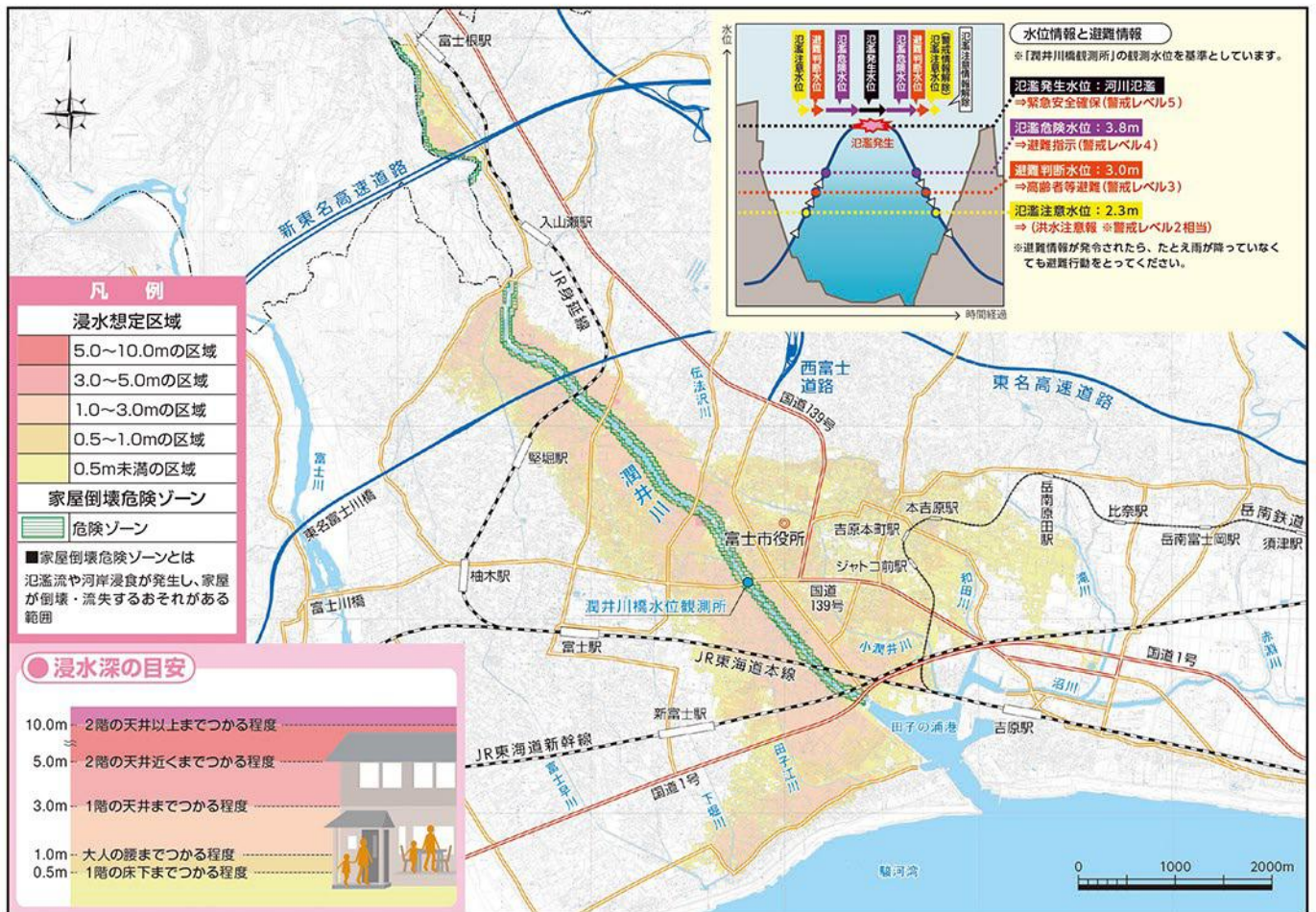
川の防災情報

富士川(南部観測所)の水位の確認はこちらから



潤井川浸水想定区域図

この図は、潤井川流域で想定される最大規模の降雨(潤井川流域で24時間雨量673.4ミリ)により、潤井川が氾濫した場合の浸水が予想される範囲やその深さ、家屋倒壊危険ゾーンを表したものです。



緊急避難場所 [潤井川洪水]

潤井川洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発令された後に、浸水が想定される10地区内の以下の学校施設を「緊急避難場所」として開設します。
※潤井川の洪水浸水想定地区：吉原、伝法、今泉、富士駅北、富士北、田子浦、岩松北、鷹岡、天間、丘

施設名	住所	想定浸水深				施設名	住所	想定浸水深			
		富士川	潤井川	小潤井川	沼川			富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原小学校	高嶺町 6-1	-m	0.6m	1.2m	-m	富士中央小学校	米之宮町 295	2.1m	1.0m	-m	-m
伝法小学校	伝法2743	-m	-m	-m	-m	富士高等学校	松本 17	2.1m	0.8m	-m	-m
吉原第一中学校	永田北町 7-1	-m	0.8m	1.7m	-m	田子浦小学校	中丸 98	2.4m	0.5m	-m	-m
今泉小学校	今泉 3-17-1	-m	0.5m	1.0m	1.2m	田子浦中学校	中丸 411	2.5m	0.3m	-m	-m
吉原第二中学校	今泉 1955	-m	-m	-m	-m	岩松北小学校	岩本123-1	2.4m	0.4m	-m	-m
吉原高等学校	今泉 2160	-m	-m	-m	-m	鷹岡小学校	久沢 2-3-1	-m	-m	-m	-m
富士第一小学校	本市場 280-2	1.9m	-m	-m	-m	天間小学校	天間 50	-m	0.7m	-m	-m
富士中学校	中島 320	2.1m	-m	-m	-m	丘小学校	厚原 2075	-m	-m	-m	-m

詳細な浸水想定区域図や、洪水からの避難についてまとめた「潤井川逃げどきマップ」を作成しました。富士市ウェブサイトから閲覧できます。

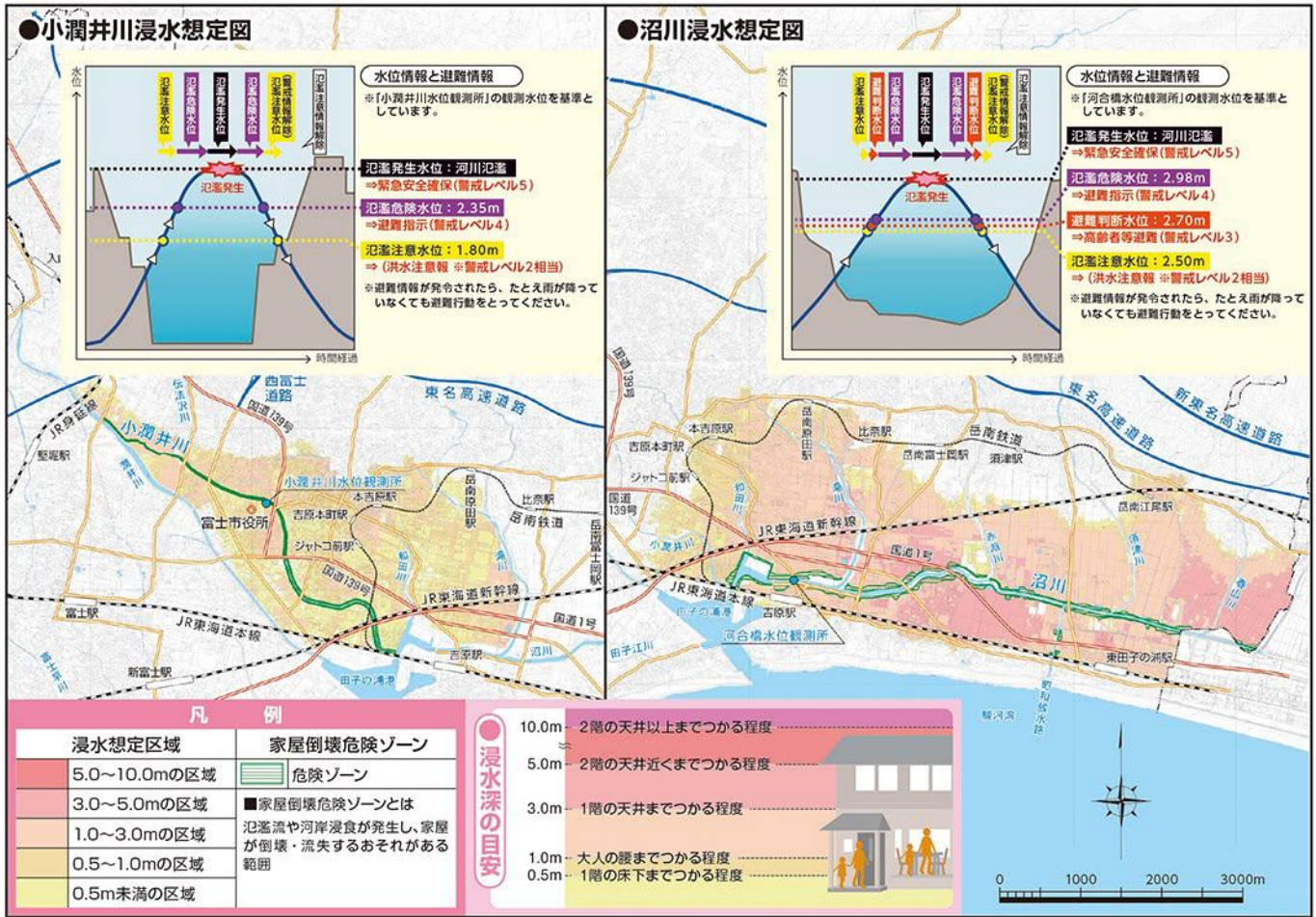


川の防災情報

潤井川(潤井川橋水位観測所)の水位の確認はこちらから

小潤井川・沼川浸水想定区域図

この図は、小潤井川流域で想定される最大規模の降雨(小潤井川流域で24時間雨量694.5ミリ)と 沼川流域で想定される最大規模の降雨(沼川流域で24時間雨量694.5ミリ)により、小潤井川・沼川が氾濫した場合の浸水が予想される範囲やその深さ、家屋倒壊危険ゾーンを表したものです。



緊急避難場所【小潤井川洪水】

小潤井川洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発令された後に、浸水が想定される3地区内の以下の学校施設を「緊急避難場所」として開設します。
※小潤井川の洪水浸水想定地区:吉原、伝法、今泉

施設名	住所	想定浸水深			
		富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原小学校	高嶺町 6-1	-m	0.6m	1.2m	-m
伝法小学校	伝法 2743	-m	-m	-m	-m
吉原第一中学校	永田北町 7-1	-m	0.8m	1.7m	-m
今泉小学校	今泉 3-17-1	-m	0.5m	1.0m	1.2m
吉原第二中学校	今泉 1955	-m	-m	-m	-m
吉原高等学校	今泉 2160	-m	-m	-m	-m

SAIPOS-RADAR

小潤井川(小潤井川水位観測所)の水位の確認はこちらから

詳細な浸水想定区域図や、洪水からの避難についてまとめた「沼川・小潤井川逃げどきマップ」を作成しました。
富士市ウェブサイトから閲覧できます。

緊急避難場所【沼川洪水】

沼川洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発令された後に、浸水が想定される7地区内の以下の学校施設等を「緊急避難場所」として開設します。
※沼川の洪水浸水想定地区:吉原、今泉、吉永、元吉原、須津、浮島、原田

施設名	住所	想定浸水深			
		富士川	潤井川	小潤井川	沼川
吉原小学校	高嶺町 6-1	-m	0.6m	1.2m	-m
今泉小学校	今泉 3-17-1	-m	0.5m	1.0m	1.2m
吉原第二中学校	今泉 1955	-m	-m	-m	-m
吉原東中学校	比奈 75	-m	-m	-m	-m
元吉原小学校	今井3-4-2	-m	-m	-m	-m
元吉原中学校	鈴川中町 28-1	-m	-m	-m	-m
須津小学校	中里 1019	-m	-m	-m	-m
須津中学校	中里 1156	-m	-m	-m	-m
東小学校	西船津 220	-m	-m	-m	-m
原田小学校	原田 480	-m	-m	-m	-m
吉原第三中学校	比奈 2126	-m	-m	-m	-m

SAIPOS-RADAR

沼川(河合橋水位観測所)の水位の確認はこちらから

土砂災害の種類

土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりのことをいい、勾配の急な山やがけ、溪流のある地域に発生します。土砂災害のほとんどは、雨や地震に起因して突然発生します。特に長雨や大雨の場合は、大量の水が地中にしみ込み、その量が多いほど斜面の土が弱くなり、災害の発生する可能性が高くなります。このため、災害が発生するおそれのある区域をあらかじめ把握し、大雨などの際には気象情報の収集を行い、身の危険を感じたら早めの避難を心がけてください。

◆ がけ崩れ

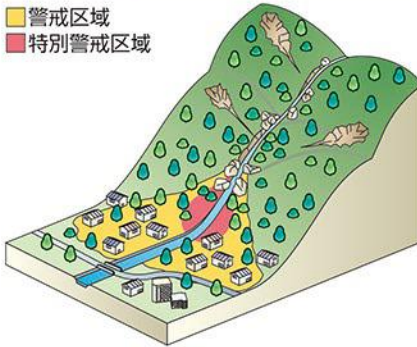
■ 警戒区域
■ 特別警戒区域



雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

◆ 土石流

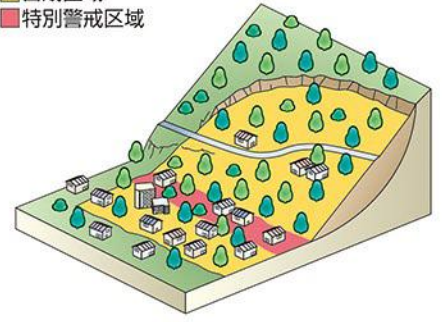
■ 警戒区域
■ 特別警戒区域



山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象です。

◆ 地すべり

■ 警戒区域
■ 特別警戒区域



雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象です。

土砂災害防止法*に基づく区域指定

富士市内には、土砂災害の危険か所が231箇所あります。これらの箇所を調査し、平成20年度から土砂災害防止法*に基づく土砂災害警戒区域等の指定が静岡県により行われています。(調査の結果、区域に指定されない場合もあります。) 指定された区域では次の措置がとられます。

*土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

◆ 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

◆ 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

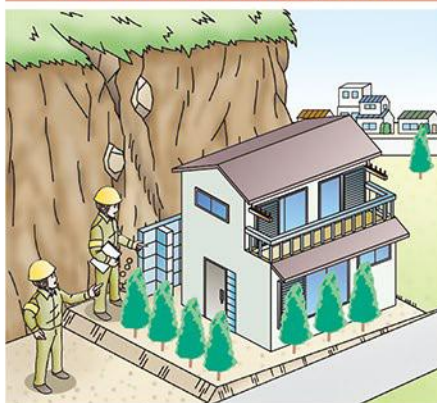
がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域で、下記のような一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

特定の開発行為に対する許可制【静岡県】



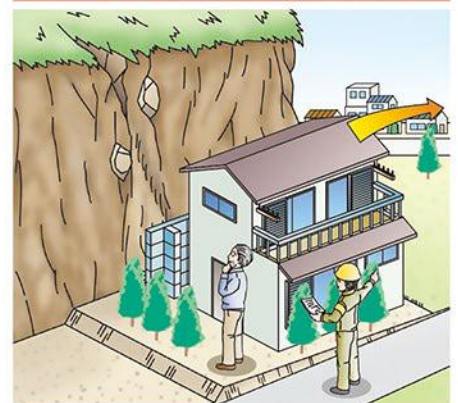
宅地分譲や要配慮者利用施設の建築のための開発行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

建築物の構造規制【富士市】



居室を有する建築物は、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全であるかどうか建築確認がされます。

建築物の移転勧告【静岡県】

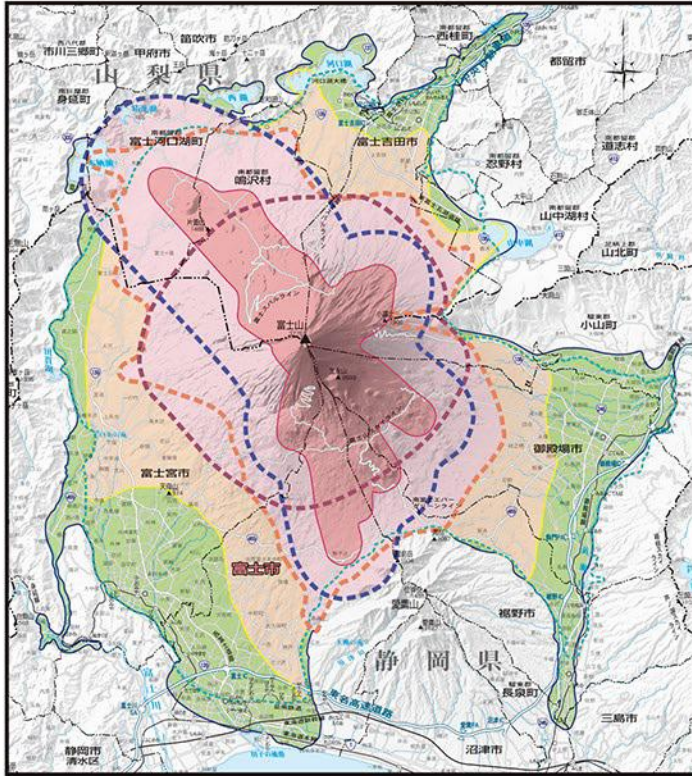


著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。

火山(富士山)

富士山は、1707年(宝永4年)に噴火した後、現在まで静かな状態が続いています。しかし、地下深くでは今もマグマが活動をしている活火山です。噴火した場合に想定される影響範囲と、避難すべき段階をあらかじめご確認ください。

富士山噴火災害予想図



この図は富士山が噴火した場合に、溶岩流、噴石、火砕流などの影響が及ぶと考えられる範囲を全て重ねたものです。全方位に同時に発生することを意味するものではありません。また、実際の噴火活動時には、この図に示した範囲外に影響が及ぶ可能性もあります。

凡例

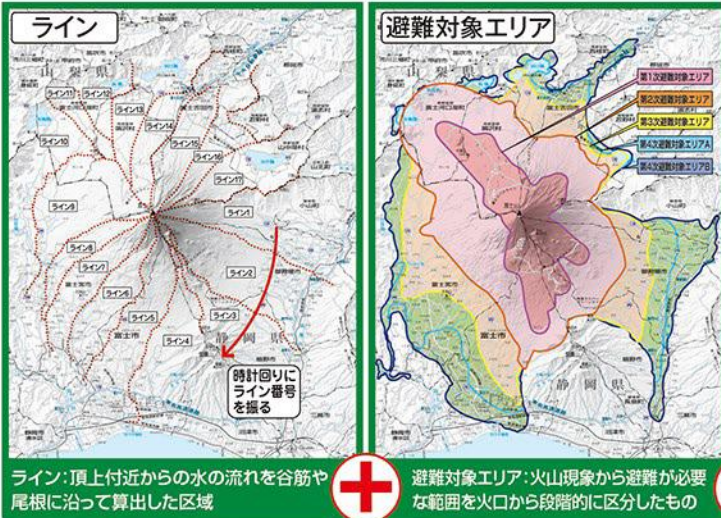
- 火口ができる可能性の高い範囲
(この範囲のすべてでなくどこかに火口ができます。)
- 噴火する前に避難が必要な範囲
(噴火した場合に、下の3つのいずれかに当てはまり、すぐに危険になる範囲です。)
- 火砕流が発生したときに、高熱のガスが高速で届く範囲
- 火口から噴出した石がたくさん落ちてくる範囲
(この範囲外にも、10cm未満の小石などが落ちてくる可能性があります。)
- 溶岩が流れ始めた場合、3時間程度で到達する可能性のある範囲
- 溶岩が流れ続けた場合、1日程度で到達する可能性のある範囲
- たいへん大きな噴火の場合、数日間以上で流れ下る範囲
- 雪が積もっている時に、積もった雪が噴火により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲

避難の対象となる地域

避難対象地域は、富士山噴火災害予想図に示された溶岩流、噴石、火砕流、融雪型火山泥流の影響が予測される範囲を基本に区分しています。火山活動の状況によって避難対象エリアに避難指示を発令します。

富士山噴火災害予想図凡例	区分	予測される影響	地区	避難対象町内会
	第1次避難対象エリア	火口ができる可能性がある	吉永北	勢子辻
	第2次避難対象エリア	溶岩流が3時間程度で到達する可能性がある 噴石・火砕流が到達する可能性がある	大淵	吉原富士本中町、大淵町3
吉永北			桑崎町、陽光台東	
	第3次避難対象エリア	溶岩流が24時間程度で到達する可能性がある	吉永北	間門町、鶏無ヶ淵町1・2、陽光台西
大淵			大久保町、大淵町1・2、八王子町1・2、八王子本町、中野町1・2、落合町、吉原富士本西町、大富町、次郎長町、城山町、希望ヶ丘	
神戸			全町内	
富士見台			全町内	
吉永			富士岡入町、富士岡町1~3、富士岡本花守町、東比奈町1~3、中比奈町3	
青葉台			一色、高山、若松町1、若松町3	
原田			三ツ沢町1~3、原田町4	
須津			中里1	
	溶岩流による孤立が予想される集落	吉永北	石井町、陽光台南	

溶岩流に伴う段階的な避難

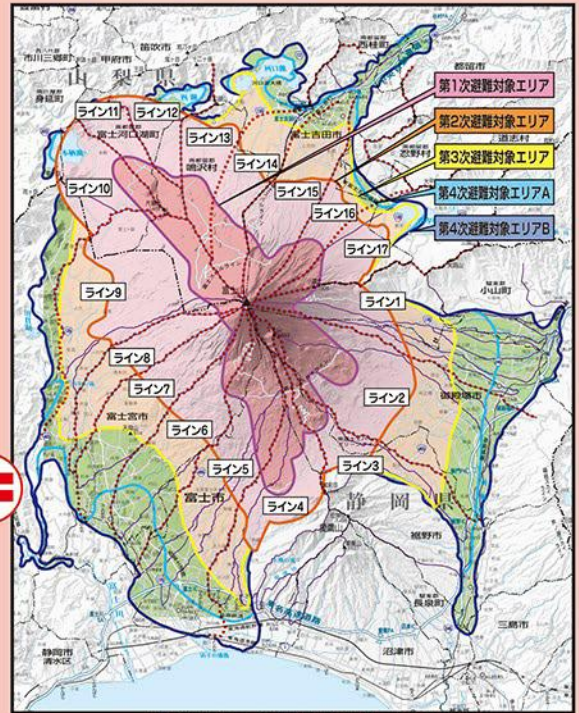


ライン: 頂上付近からの水の流れを谷筋や尾根に沿って算出した区域
 避難対象エリア: 火山現象から避難が必要な範囲を火口から段階的に区分したもの

噴火警戒レベルにより、第1・2次避難対象エリアの町内会(区)は避難

噴火後、第3・4次避難対象エリアは、町内会(区)ごと避難

自家用車での避難が不可能な人は乗り合わせ、又は市が用意した車両で町内会(区)集合場所から避難



富士山火山防災対策協議会資料から

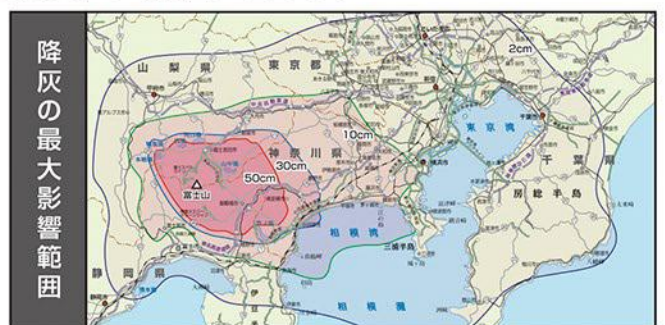
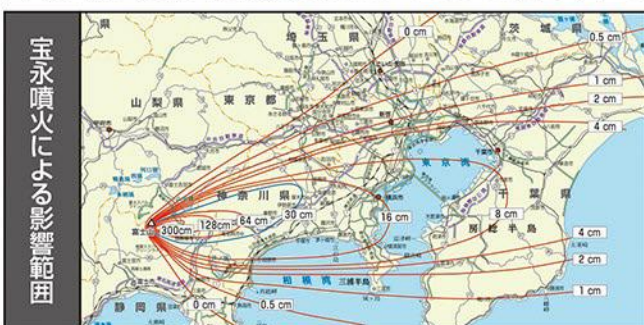
富士山の火山活動に関する情報

気象庁は、火山活動の状況を、「噴火警戒」「噴火警戒レベル」として発表します。同報無線、テレビ、ラジオで情報を収集してください。

予報 警報	対象 範囲	噴火警戒 レベル	説 明		
			火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者等への対応
特別 噴火 警報	居住 地域	レベル5	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	第1次・第2次避難対象エリアにお住まいの方は避難します。第3次避難対象エリアにお住まいの方は避難の準備をします。	登山禁止や入山規制等、危険な地域への立入規制 第1次避難対象エリアでの登山や観光はできなくなります。
		レベル4	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	第1次避難対象エリアにお住まいの方は避難します。第2次避難対象エリアにお住まいの方は避難の準備をします。	
火口 周辺 警報	火口 周辺	レベル3	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活 (状況に応じて要配慮者の避難準備等。)	火口周辺への立入規制
	火口 周辺	レベル2	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活	
噴火 予報	火口 内等	レベル1	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	通常の生活	特になし

降灰による影響範囲

1707年宝永噴火の際は、偏西風の影響により、現在の富士市域には、ほとんど降灰がありませんでした。しかし、偏西風の弱い季節に大規模な噴火がおきると、富士市にも降灰が発生する可能性があります。



I
富士市の自然災害

大規模地震発生時の 富士市の被害イメージ ～静岡県第4次地震被害想定から～

南海トラフ地震の発生により最大で次のような甚大な被害が想定されています。しかし、これは、何も防災対策をしなかった場合の最悪のケースを示すものであり、この想定を受けとめる上で最も重要なことは、**事前の備えにより被害を軽減することができる**ということです。

犠牲者	軽傷	重傷	死者
津波	40人	20人	90人
家屋の倒壊	2000人	450人	40人
屋内落下物	300人	50人	10人
合計	2340人	520人	140人

→ 家具の転倒等でケガをしない方法については P22

電柱被害
電気 400本
電話 100本

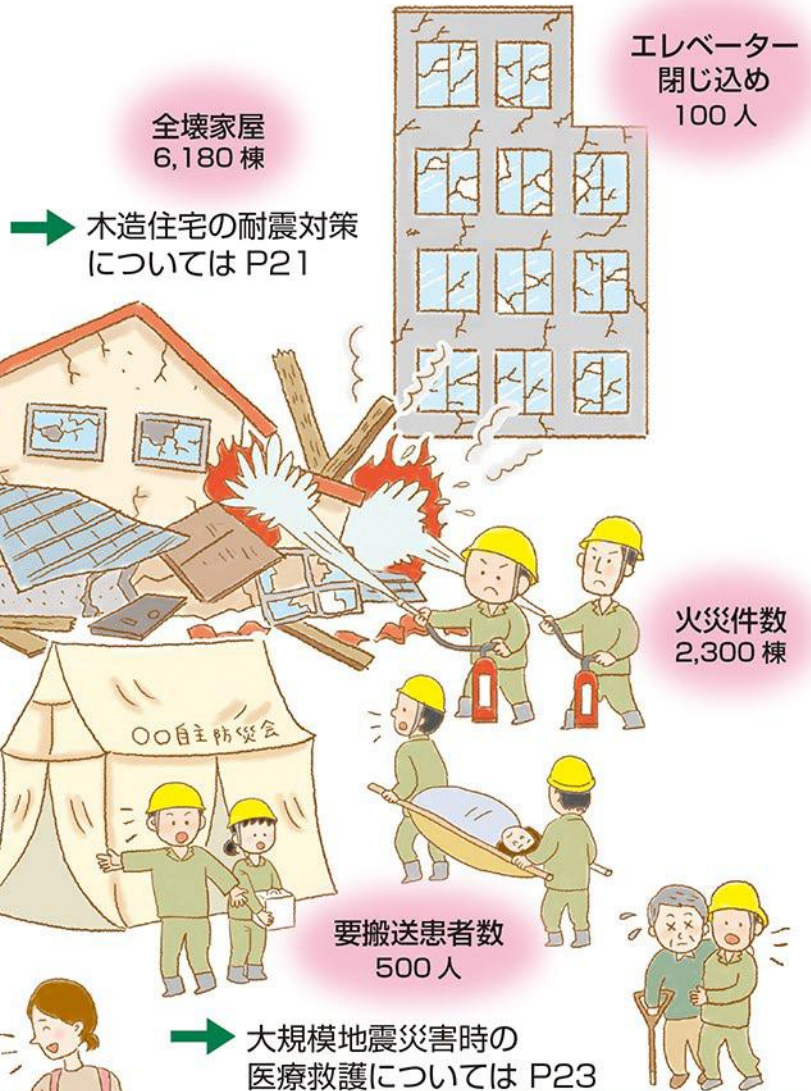
→ 地域の要配慮者対策
(災害支援キット)に
ついては P24



→ 避難時の非常持ち出し品、
非常用備蓄品については P29

ライフライン機能支障率	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
上水道	100%	96%	59%	0%
下水道 (管路の状況が確認されるまで使えません)	6%	5%	3%	0%
電力	89%	78%	3%	2%
都市ガス	100%	100%	85%	17%
LPガス	21%	—	—	—
固定電話	89%	79%	4%	0%

※大規模地震災害発生後のライフラインの使用制限や復旧の状況はラジオエフ等でお知らせします。



避難生活者数	1日後	1週間後	1ヶ月後
避難所	14,144	26,666	6,773
避難所外	9,321	26,502	15,804

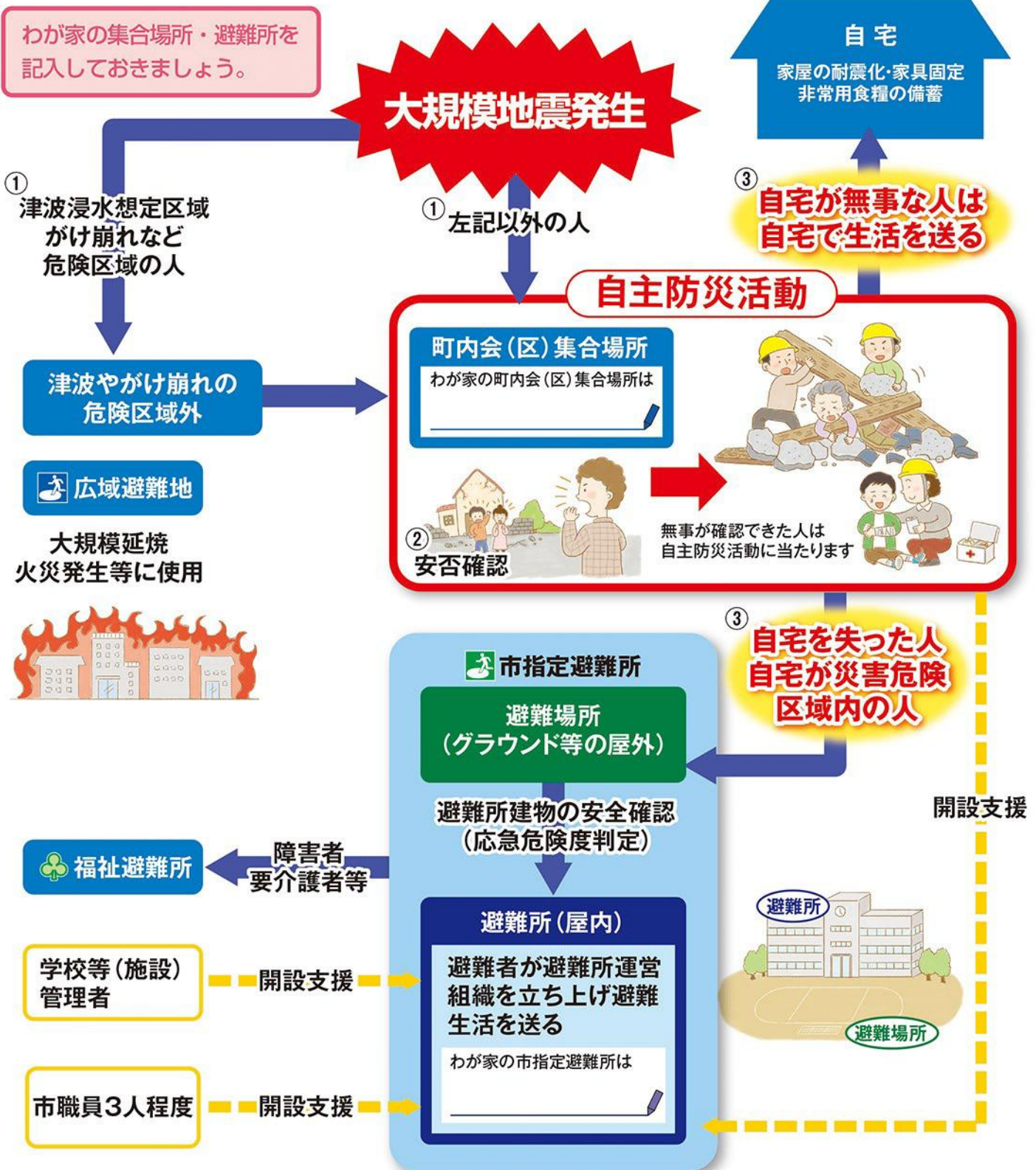
→ 避難や避難場所については P19・20



地震災害の避難と自主防災活動

富士市では、市指定避難所として、52か所の学校等を町内ごとに指定しています(P20参照)。しかし、大規模な地震が発生した時、全市民が市指定避難所に行くわけではありません。

- ①避難すべき人(避難対象者)は、危険予想区域内(津波・がけ崩れなど)の方です。危険区域外への退避が最優先になりますので、市指定避難所にこだわる必要は全くありません。その際は、できる限り非常持ち出し品などをもち、原則徒歩で避難します。
- ②町内会(区)の集合場所で安否確認を行い、無事が確認できた人は自主防災活動に当たります。
- ③自宅を失った人等は、町内会(区)ごとまとめて市指定避難所に行き被災後の生活を送りますが、自宅に居住できる人は自宅に戻って生活します。



市指定避難所一覧

番号	施設名	町内会(区)
1	吉原小学校	東本通1~3、西本通り、伝馬町、西仲町、新追町、津田、荒田島1・2、八代町、新通り、緑町、南町、依田原1~4、宮町、吉原本町1~4、大和町、幸町、昭和通り、住吉町、日吉町1~3、エンゼル町、中央町壱番館
2	伝法小学校	中桁、上田端、田端町、吉原上中町、中村町、伝法町1~3、千代田町
3	吉原第一中学校	錦町1、永田町、青島、新青島町、高島、日乃出町、弥生町、宮川町、宮の上、三日月市、長者町、瓜島、永田町壱番館、サーバス永田町、富士日乃出町
4	今泉小学校	春日町、田宿、富士見町、仲町、和田町1・2、新橋、依田橋、北仲町、南仲町、新富士見町
5	吉原第二中学校	御殿、吹上、寺市場、市場、一の宮町1~3、立小路、栄町、水の上、泉町、鍛冶町1~3、駿河台2・4
6	吉原高等学校	東国久保、西国久保、駿河台1・3、上和田町、吉原緑ヶ丘、源太坂
7	富士東高等学校	西木の宮町、木の宮町、東木の宮、三ツ沢町1~3、富士見台8
8	神戸小学校	神戸1・2、今宮
9	広見小学校	広見町1~9、石坂町1~4、久保町、若松町2
10	青葉台小学校	一色、荻の原、茶の木平、青葉台南、高山、若松町1・3
11	富士見台小学校	富士見台1・2北・2南・6・7
12	吉原北中学校	富士見台3・4東・4西・5、間門町
13	元吉原小学校	今井東町、今井毘沙門町、大野町、桧町、西田中町、田中町、柏原町1~3
14	元吉原中学校	鈴川本町、鈴川町3~5、鈴川浜町東通り、鈴川浜町中通り、鈴川浜町西通り、今井本町
15	須津小学校	中里2・4、中里八幡町、神谷町1、川尻町1・2、中里曙町、中里寿町
16	須津中学校	中里1・3、江尾町1・2、中里新富町、神谷町2・3、増川町1~3、神谷緑町
17	東小学校	浮島町1~3
18	吉永第一小学校	東比奈町3、中比奈町2
19	吉原東中学校	富士岡町1・3、富士岡本花守町、富士岡波脇町、富士岡花守町
20	富士市立高等学校	富士岡入町、富士岡町2、東比奈町1・2
21	吉永第二小学校	鵜無ヶ淵町1・2、桑崎町、石井町、陽光台東、陽光台南、陽光台西
22	勢子辻林業施設展示場	勢子辻
23	原田小学校	宇東川町1~3、宇東川本町、西滝川町、原田町1~4、原田本町、吉原中島町1・2
24	吉原第三中学校	中比奈町1・3、西比奈町1~3、東滝川町、南滝川町、北滝川町
25	大淵第一小学校	穴原町1・2、中野町1、境町、大峯町、片倉町、落合町、三ツ倉町
26	大淵第二小学校	吉原富士本中町、吉原富士本西町
27	大淵中学校	大久保町、大淵町1~3、八王子町1・2、八王子本町、中野町2、大富町、次郎長町、城山町、希望ヶ丘
28	富士第一小学校	本市場1~4、国久、銀座町、平垣町3、富士本町、十兵衛北、千寿町、藤間、蓼原1~5
29	富士見中学校・高等学校	平垣町、平垣町2、富士町、水戸島上、柚木、橋下
30	富士中学校	富士中島上、平垣北町、平垣八幡町、浦町(東)、松岡東
31	富士高等学校	本市場新田、松本、富士中島下、中島新道町
32	富士中央小学校	青葉町、塔の木、塔の木2、川原宿、浅間町、くすの木町
33	富士第二小学校	上横割、十兵衛南町、下横割南、下横割北、水戸島中、水戸島下、水戸島南町、水戸島上南、四丁河原南
34	富士南中学校	森島、宮下、西宮島、上五貫島、下五貫島
35	富士南小学校	千鳥町、富士見ヶ丘、三四軒屋、浜添、靖国町、自由ヶ丘
36	田子浦小学校	小須、田子、江川、前田、前田新田、鮫島、中丸丘
37	田子浦中学校	柳島、柳島日東、川成島、助六、新浜、中丸浜、下川成、東宮島、宮島新田
38	岩松小学校	林町、浦町(西)、水神、新町、四丁河原上、四丁河原下
39	岩松北小学校	東田、旭町、滝戸、四ツ家
40	岩松中学校	上町、富士上中、瀬戸河原、富士緑ヶ丘、富士下中
41	岩本保育園	湯沢平1・2
42	鷹岡小学校	鷹岡本町1~3、入山瀬東、入山瀬西、入山瀬久保、入山瀬天王町、久沢南
43	鷹岡中学校	厚原西、久沢東、久沢西、久沢北
44	天間小学校	天間南、天間川坂、天間田代、天間東
45	天間幼稚園	天間北1・2
46	丘小学校	厚原中、厚原北1・2、厚原東2・3、厚原南、末広町
47	岳陽中学校	傘木、傘木北、片宿、厚原東1、桜ヶ丘町、百合ヶ丘、三ツ倉南町、美原町
48	富士川第一小学校	相生町、岩淵上町、吉津、中之郷堺町、中之郷川坂、中之郷新町、新町本町、四十九町、中之郷宮町、小池、大楽窪、かぎあな
49	富士川第一中学校	舟山町、坂下、岩淵旭町、中之郷本通1・3・4、中之郷幸町、東町1・2、中之郷日の出町
50	富士川体育館	木島、小山、室野
51	富士川第二小学校	南松野1・2、松野富士見町、松野八幡町
52	富士川第二中学校	中野台、富士松野、清水町、大北町、俣下町

わが家の安全対策

木造住宅の耐震対策【プロジェクトTOUKAI-0】

阪神・淡路大震災をはじめ、過去の地震災害における建物倒壊は、昭和56年5月31日以前の旧建築基準法により建てられた木造住宅に集中しています。あなたの家は大丈夫でしょうか?このような住宅にお住まいの方は、まず耐震診断を受けてみましょう。

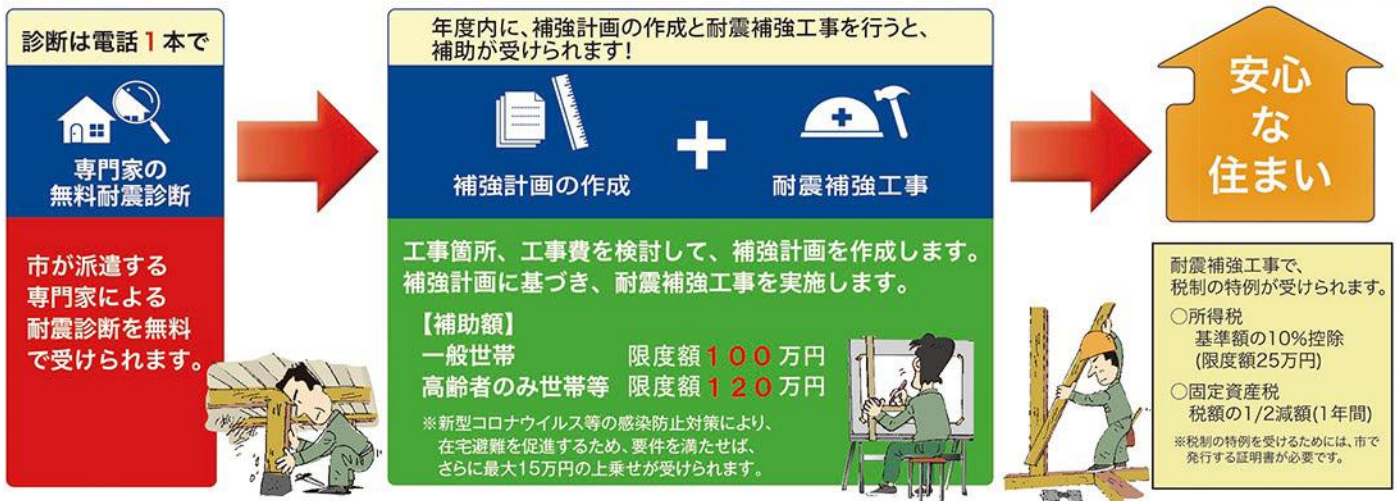
耐震診断は無料で受けられます。設計や耐震補強工事には**補助金**がでます。

※ここでご紹介する制度の対象は**昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅**です。

★補助金の交付を受けるには**全て事前の申請**が必要です。また、補助額は年度により変わることがあります。詳しくは**建築指導課**までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 建築指導課 TEL55-2903

安心な住まいへの道



耐震補強工事例

総合評価 **0.44**
改修前...before
倒壊する危険性が高い

総合評価 **1.04**
改修後...after
一応倒壊しない

◆ 耐震補強概要

耐力壁(筋かい)の設置と屋根の葺き替え

◆ 建築概要

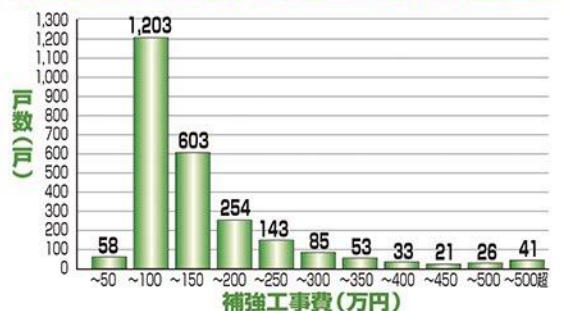
階数...2階建
1階...約75m²
2階...約35m²
建築年...昭和51年(1976)

◆ 工事費

内容	金額	備考
仮設工事	73,000	
耐力壁の補強	442,000	6か所
屋根の葺き替え	629,000	58m ²
設備工事	96,000	
消費税(10%)	124,000	
工事費計	1,364,000	(設計費別途)

※この費用は目安であり、家の状態等により異なります。

◆ 平成18~令和元年度 耐震補強工事の実績(静岡県)



道路沿いのブロック塀等について

鉄筋が入っていないブロック塀や、積み重ねただけの石垣は、地震発生時に倒れる可能性があり、非常に危険です。このようなブロック塀を撤去し、より安全な生垣やネットフェンス等に改修しましょう。また、撤去費用の一部を補助する制度がありますので、撤去する前にお問い合わせください。

耐震シェルター及び防災ベッド設置について

わが家の無料診断や補強計画等で構造評価点が1.0点未満で耐震工事を行っていない場合、耐震シェルター及び防災ベッドの設置をする費用の1/2以内を助成します。

- ・耐震シェルター 上限12万5千円
- ・防災ベッド 上限10万円

問い合わせ先...建築指導課 TEL55-2903

家具固定

阪神・淡路大震災では6,434人ももの尊い人命が失われました。その8割以上が家屋倒壊・家具転倒等による圧死・窒息死で亡くなりました。また、ケガをした人の原因(下図)の第1位は家具の転倒によるものです。

阪神・淡路大震災でケガをした人の原因 ケガ人43,800人の原因内訳

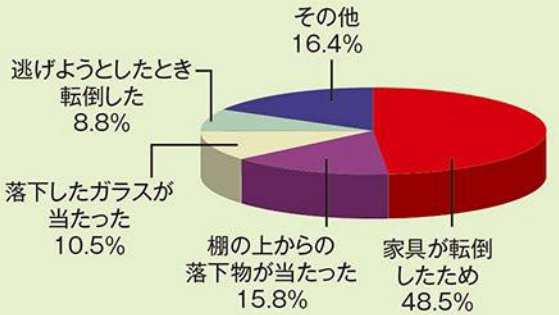
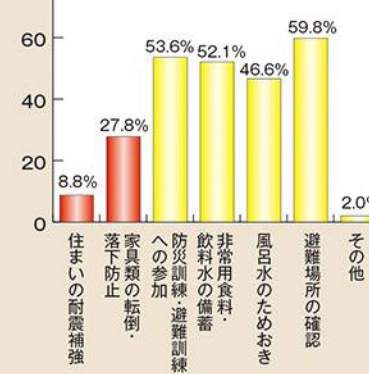


図 神戸市消防局の調査から

自宅の防災対策実施率 (東京消防庁調査)



左表は、東日本大震災後に実施した「自宅の防災対策実施率」の調査結果です。

揺れに対する備えは、他の対策に比較して、進んでいないのが現状です。

しかし、最も優先させるべき防災対策は、地震の揺れから命を守るためのものです。大地震に対する漠然とした不安から逃れるための第一歩として、家具や家電の耐震固定をおすすめします。

小 ← 器具の効果 → 大

単独使用

- ストッパー式
- マット式
- ポール式
- ベルト式
- L型金具 (上向き取付け)
- L型金具 (下向き取付け)

組み合わせて使用

賃貸住宅等で壁に穴を開けられない場合、複数の転倒防止策を組み合わせると、耐震効果を上げる必要があります。

【実験概要】
 ● 食器棚 [H1800mm、自重65kg、収納物50kg] ● フローリング・床
 ● 震度6強の阪神・淡路大震災時の地震波を使用
 (家具類の転倒・落下防止対策に関する調査研究会/東京消防庁)

ポール式+マット式 ポール式+ストッパー式

◎ ガラスの飛散防止

窓ガラスだけでなく、戸棚やサイドボードのガラス部分も忘れずに飛散防止フィルムを貼っておきましょう。

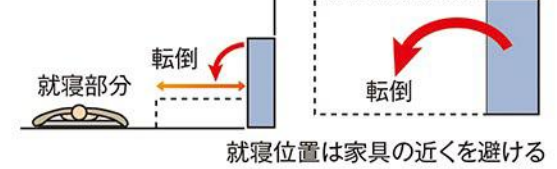


2009年(平成21年) 8月11日5時7分駿河湾地震

◎ 家具の配置の工夫

睡眠は、一日の比較的長い時間を占めます。就寝位置(特に枕の位置)を工夫するだけでも、地震発生時のリスクを減らすことができます。

就寝位置が正面の場合、家具の高さ以上に十分な距離をとる。



災害時の医療救護

医療救護所の開設

大規模な災害が発生すると、多数の負傷者が出るおそれがあります。

また、地域の医療機関も被害を受け、機能しなくなる可能性があります。

市はそのような混乱の中、一人でも多くの命を救うため、富士市医師会・歯科医師会・薬剤師会及び医療救護所登録看護師等の皆さんにご協力いただきながら、トリアージや応急手当を中心とした医療救護活動を行う医療救護所を開設します。

開設予定場所は、下記の16か所です。災害の規模により、16か所全てが開設されるとは限りませんが、開設されていれば、どの医療救護所でも受診できます。

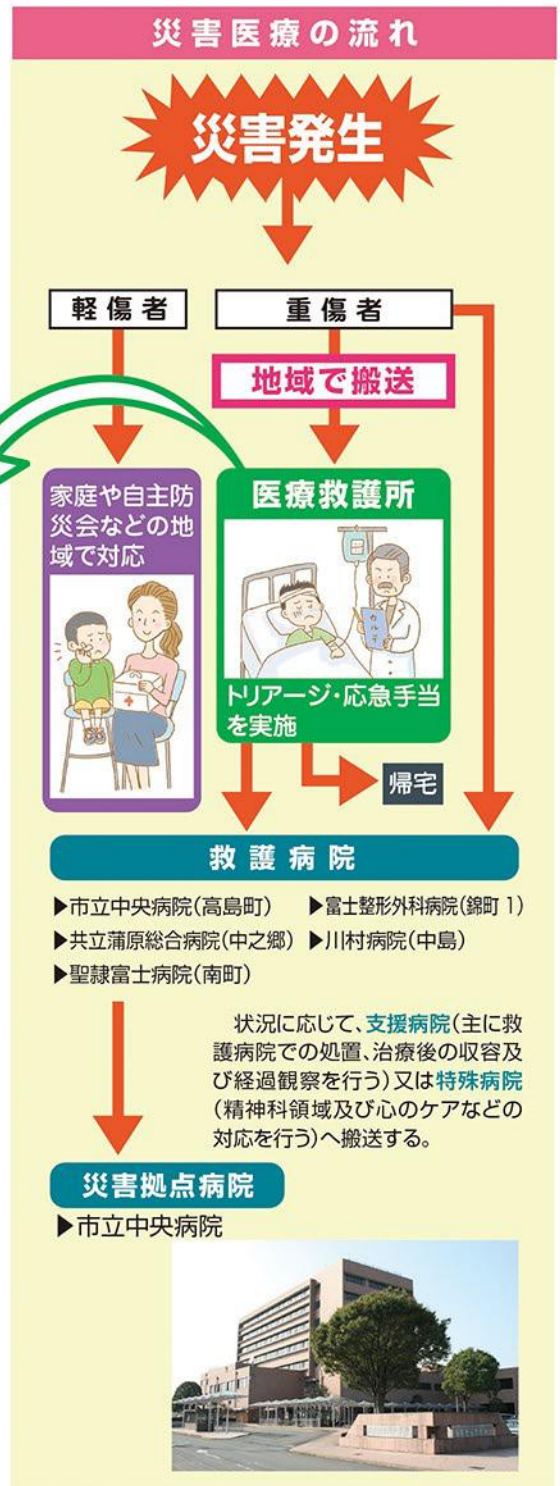
24時間体制で運営し、開設期間は発災からおおむね4日間程度です。

開設予定場所	医療実施場所
① 吉原第一中学校	校舎の一部
② 吉原第二中学校	
③ 岳陽中学校	
④ 吉原北中学校	
⑤ 元吉原中学校	2階建て体育館 の1階部分
⑥ 須津中学校	
⑦ 富士市立高校	
⑧ 吉原第三中学校	
⑨ 大淵中学校	
⑩ 富士中学校	
⑪ 富士南中学校	
⑫ 田子浦中学校	
⑬ 岩松中学校	分館の一部
⑭ 鷹岡中学校	
⑮ 富士川まちづくりセンター	2階建て体育館の1階部分
⑯ 富士川第二中学校	

開設状況は、ラジオエフ等でお知らせします。

※トリアージとは

多数の負傷者を緊急度や重傷度に応じて分類し、治療や搬送の優先順位をつけること。「トリアージ・タグ」という識別票で色分けします。



負傷者の搬送について

大災害時、救急車は重傷者を医療救護所から救護病院へ搬送する役割を担うことから、災害現場には出勤できないことが想定されます。そのため、負傷者の医療救護所への搬送は、自主防災会など地域の皆さんでお願いします。



問い合わせ先…保健医療課 保健総務担当 TEL55-2739

災害・緊急支援情報キット(災害支援キット)

災害時に最も頼りになるのは、隣近所や地域の方々です。しかし、誰が支援を求めているか分からなければ、支援の手は届きにくくなります。

富士市では、避難行動要支援者の存在を把握するため、町内会(区)の協力のもと、災害・緊急支援情報キット(災害支援キット)を配付しています。

これにより、町内会(区)や自主防災会は、申請された方の情報をもとに、災害時の避難誘導や安否確認などの支援をすることができます。

災害支援キットとは



災害支援キットは、災害時や緊急時に、救急隊員など救援に来た人が、助けが必要な人へ迅速かつ的確に対応できるようにする道具一式です。

かかりつけの医療機関や服用薬情報、緊急連絡先などを記入した災害・緊急支援情報カードを保管容器に入れ、冷蔵庫に保管します。冷蔵庫の外側と玄関ドアの内側にはシールを貼り、急病時や災害発生時、救援に来た人に災害支援キットがあることを知らせます。

個人情報、自宅の冷蔵庫に保管するので安心です。



【対象者】

- ◎災害情報の把握が困難な人
- ◎自力で避難することが困難な人
- ◎避難生活などで手助けが必要な人

※高齢者や障害がある人、難病を抱えている人が対象ですが、災害時の避難に不安がある人は、どなたでも申請できます。

災害支援キットの効果

災害時

いざという時、手助けが必要な人がどこにいるのか分かっていれば、ご近所で、お互いに助け合うことができます。



普段の見守り

日ごろからの声かけや見守り活動などにより、顔の見える関係をつくることができます。



急病

救急措置が必要なときに冷蔵庫から取り出して、救命活動に活用します。



申請方法

希望する人は、申請書に住所、電話番号、氏名、生まれ年、性別、どのような助けが必要かを記入し、町内会(区)に提出してください。障害の種類や身体の状態などの情報は自分で保管するので、緊急時以外に他人に知られることはありません。

申請した人には、後日、町内会(区)を通じて災害支援キットが配付されます。なお、申請書は、市役所(福祉総務課)及び富士市ウェブサイト等で入手できます。

問い合わせ先…福祉総務課 福祉政策担当 TEL55-2840

災害図上訓練DIGのすすめ

災害を知る・地域を知る・人を知る

～いつきてもおかしくない大規模地震に備えて～

DIG(ディグ)ってなに?

災害を意味するDisaster、想像を意味するImagination、ゲームのGame、3つの頭文字をとって名付けられた、誰でも参加できる防災訓練です。

富士市では、市民のみなさんが自分の住んでいる場所に起こりうる災害について、正しい知識を身につけ、減災のためにできること(やるべきこと)を具体的に考えていただくための手段として、DIG(ディグ)を推奨しています。



英語の動詞“dig”には、「掘り起こす、探求する、理解する」といった意味があります。“DIG”という名称には、「防災意識を掘り起こそう」「地球を探求しよう」「災害を理解しよう」といった、狙いが込められています。

DIGを行う前に!

—地震発生時の行動と家庭内対策の点検—

まずは、地震発生直後の行動について考えてみましょう。一例として、家庭での行動を示しますが、学校や仕事場においても災害時の行動をイメージしておくことが、防災対策の第一歩です。

地震発生

大きな揺れが最大3~4分続きます、落ち着いて身を守る

■屋内にいたら

- 机などの下にもぐる
- 布団やクッションで頭を守る

ポイント!

身を守る行動ができないこともあるので、家具・家電の固定を!



■屋外にいたら

- 屋根がわらの落下、ブロック塀や自動販売機の転倒に注意する



3分~5分

揺れがおさまったら、落ち着いて火の始末、津波、がけ崩れのおそれがある地域では、近くの安全な場所に避難

- 火を使っていたら火の元の確認



ポイント!

ガスの自動遮断装置が普及していますので、地震の揺れの最中に無理をして火を消す必要はありません。

- ガラスが散乱していることを考え、靴や厚手のスリッパを履く



ポイント!

間違いなく停電しています。地震発生時間が夜中であれば、懐中電灯などの灯りが必要です。

- 家族の安全を確認



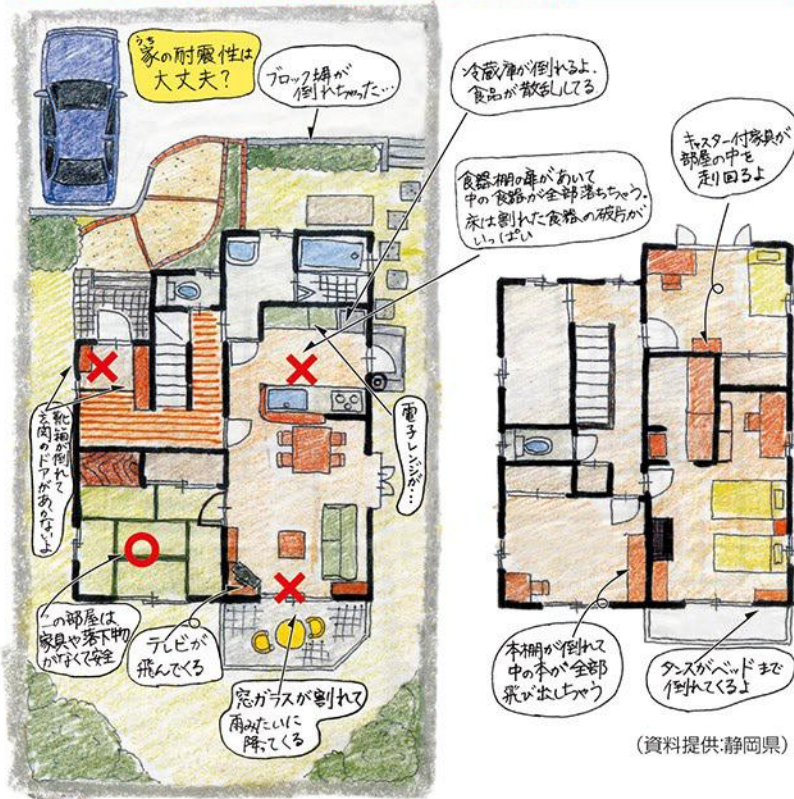
ポイント!

家族との連絡方法を決めておこう。連絡手段は背表紙ページで確認!

「家庭内DIGをやってみよう」

家庭内DIGとは、静岡県が「地震が起きてわが家で暮らせる家づくり」に取り組んでもらうために考案したもので、地震発生時の自宅の被害を想定し、どのような準備をしなければならないか話し合うものです。

◆ 地震が起きた時、わが家のここが危険!



次のステップでわが家の危険度をチェックしてみよう!

ステップ1

模造紙などに自宅の平面図を描いてみよう。

ステップ2

左図を参考に、自宅の危険な場所をチェックしてみよう。

ステップ3

電気のブレーカー、ガスの元栓やマイコンメーターの場所を確認しよう。家族全員がブレーカーなどの位置や切り方を確認しておくことが重要です。

ステップ4

危険度がチェックできたら、対策を考えましょう。耐震性がある家でも家具が倒れたり、窓ガラスが割れたりすると、大けがをする場合があります。家具の固定はP22を参考にしてください。

ステップ5

地震発生後もわが家で生活するため、次のことを考えておきましょう。

- どの部屋で生活しますか?
- 食料・飲料水はどうしますか?
(非常用持ち出し品などはP29)
- トイレは?
- 寒さ対策は?

詳しくは…静岡県地震防災センター 054-251-7100 <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/>

家庭内DIGの用紙がダウンロードできます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/kateinaidig.html>

5分～

家族の無事を確認したら、隣近所の確認

■隣近所に声をかけよう

- けが人はいないか
- 建物の下敷きになっている人はいないか



ポイント!

一軒の倒壊家屋から1人の人を助け出すためには大勢の力が必要。

担架で1人を運ぶのに4～6人の人手が必要。

■初期消火

- 火が出たら大声で知らせる
- 消火器等の消火器材で消火

ポイント!

お風呂の水をためておく

ポイント!

消火器、防火水槽、ポンプの場所や使い方を防災訓練で確認しておきましょう。

火が大きくなったり、風が強い時は早めに避難する判断も必要です。

～3日(72時間)

隣近所の安否確認をしたら、自主防災活動

■人命救助を最優先に行動しよう

- 町内の集合場所で、被害や安否状況の報告
- 救出救助活動、消火活動、負傷者の応急手当て・搬送

ポイント!

倒壊した家屋等の下敷きになった人は、72時間を境に生存率が激減することから、「黄金の72時間」と呼ばれ、一刻も早い段階での救出活動が重要になります。

■ラジオで情報収集

- デマにまどわされないようにする
- 医療救護所開設情報、ライフラインの状況等の確認
- 市内の被害情報の収集

ポイント!

ラジオエフ84.4MHzで富士市の災害情報を収集



みんなで地図を囲み、情報の書き込みをすると普段気づかない自分たちのまちの“強み”や“弱み”が“見える化”します。しかし、地域の地図作りがDIGの目的ではありません。

DIGは、“弱み”を減らしたり、“強み”を生かしたりするための対策を具体的に話し合いやすくするための手段に過ぎません。出された意見やアイデアを、その後の自主防災活動に活かしていくことに、真の目的があります。

話し合いを深めるための資料(一例)

- 富士市防災マップ(本書)
- 災害支援キット申請者名簿
- 自主防災組織台帳

●DIGで重要な視点●

参加者は、大規模地震発生直後の行動を「自宅」→「向こう三軒両隣」→「町内会(区)」と視点を段階的に広げながら考えていきます。そうした中で、災害に立ち向かうためには、地域の資源(人・物)を活用しながら、自主防災活動にあたるのが重要だと実感することができます。



DIGをやる前に用意するもの

- 地域の地図 (1m~2m四方くらいの大きなもの)
- 透明シート(地図を何度も使えるようにするため、地図にシートを重ねて情報を書き込みます。また、シートを替えることで、別の情報を重ねることも可能です。)
- 油性ペン(8色以上が好ましい)
- ドットシール(大小各色) ○付箋(緑色、ピンク色、黄色)
- セロハンテープ ○模造紙、メモ用紙
- ベンジン(手の消毒アルコール)、ティッシュペーパーなど(書き損じの修正用に便利)

ステップ 1 イメージの共有(60分)

- 地震災害に対する共通の認識を持つ(45分)
震度6強の地震が起きると、家は、地域はどうなるのか? DVDや過去の地震時の映像を見て、イメージを共有する。
- 地域の揺れによる被害量を見積もる(15分)
下記の表を完成させてください。この際、地域の具体的な被害量をイメージすることで、その後の自主防災活動でもより具体的な対策を練ることができます。

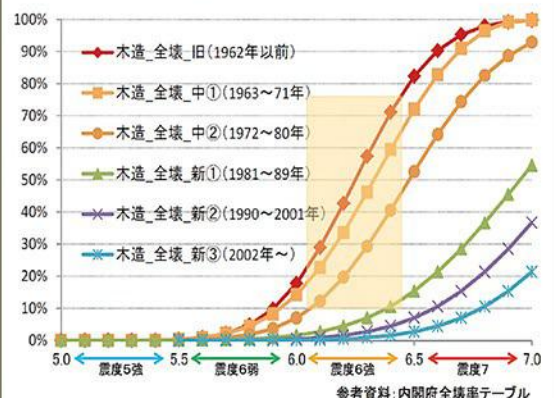
地域の地震被害の見積もり(震度6強と想定)

私たちの自主防災会では	見積もりに当たったの注意事項
人口	人 富士市の世帯当たりの平均人数は2.5人
世帯数÷家屋数	世帯 集合住宅は戸数=家屋数とする。
旧基準木造家屋数	棟 昭和56年以前に建てられた旧耐震基準の木造家屋は地域に何棟あるか、家屋数を目安に考える。
全壊(旧基準木造家屋数の30%)	棟 全壊する棟数は旧基準木造家屋棟数の10%から70%の間である。基準は30%とする。
倒壊(全壊棟数の10%)	棟 震度6強の場合は10%、震度7の場合は15%~20%が倒壊するといわれている。
生埋め	人 地震の瞬間、倒壊する家屋の1階にいる人を各棟2人と想定
重傷	人 生き埋めになる者のうち、半数が重傷になると想定
死亡	人 重傷者のうち1/3が死亡と想定

耐震性があるマンション等で町内会が構成されている場合、家具等の転倒による被害がどの程度出るか考える。

地震の震度と木造建物の全壊率の関係から、地域の地震被害の量を見積もることができます。

【参考】震度と木造建物の全壊率の関係



ステップ ②

地図へ基本情報の書き込み (15分～20分)

まずは、地図に基本情報を書き込みます。

海、河川、沼、屋外プール	青	
鉄道	黒	
主要な道路(国道など)	茶	
主要な道路(通学路など)	薄茶	
避難場所	緑で網掛け	
公園、グラウンド	緑	
空き地、田畑	薄緑	



ステップ ③

地図へ地域の強み・弱みの書き込み (15分～20分)

次に地域の強み・弱みについて、下記の凡例を参考に出し合い、地図を仕上げます。付箋に、強み(緑色)・弱み(ピンク色)となる理由を書き出しておくと、情報の共有が図れます。

●強みの書き出し

まちづくりセンター、公民館、消防署、警察署、公会堂	黄(大)	
防災倉庫、資機材置き場	黄(小)	
津波避難施設	緑(大)に白(小)を貼る	
避難所となる施設	緑(大)	
寺院	緑(小)	
防火水槽	青(大)	
街頭消火器	青(小)	
ガソリンスタンド	白(大)にGSの文字記入	
病院、救護所	白(大)に赤十字マーク記入	
薬局	白(大)に薬の文字を記入	
食料品店	白(大)に食の文字を記入	

●弱みの書き出し

災害により使用できない恐れのある道路・橋	黒で×印	
津波の危険予想地域(想定浸水域)	薄青で網掛け	
山・がけ崩れの危険予想地域	オレンジで網掛け	
孤立が予想される地域	黄で網掛け	
延焼火災の危険予想地域	赤で網掛け	
液状化が予想される地域	ピンクで網掛け	
被害を受ける恐れのある建物等	赤(大小)	
危険が予想される場所・施設	ピンク(大小)	

ステップ ④

地域に求められることは何か?(20分)

強みを活かしたり、弱みを減らし改善したりするためのアイデアを黄色の付箋に書き出してください。



萩の原

地域の地震被害の規模も材(震度6強を想定)	特記事項
人口	800人
世帯数	210世帯
高齢者世帯数	10世帯
高齢者割合(%)	5%
避難所	1カ所
学校	1カ所
病院	1カ所
元C	1カ所

【地域の強み】 平成25年9月1日
 津波の危険が低い、孤立しない、山崩れの危険が低い、延焼火災の危険が低い、液状化の危険が低い、被害を受ける建物が少ない、危険な場所・施設が少ない。

【地域の弱み】
 高齢者が多く、避難所が1カ所しかない、学校が1カ所しかない、病院が1カ所しかない、元Cが1カ所しかない、孤立しやすい、山崩れの危険がある、延焼火災の危険がある、液状化の危険がある、被害を受ける建物が多い、危険な場所・施設が多い。

【地域に求められることがら】
 高齢者への見守り、避難所・学校・病院の強化、元Cの強化、孤立しないための対策、山崩れの危険を減らすための対策、延焼火災の危険を減らすための対策、液状化の危険を減らすための対策、被害を受ける建物が多いことを減らすための対策、危険な場所・施設を減らすための対策。

【私達から地域の方へのメッセージ】
 ・日頃から各家庭で防災の備えを整えておきましょう。
 ・地域の絆を強めていきましょう。(隣近所とのコミュニケーションを大切に)
 ・他地域への支援も考えよう。

こちらは平成25年9月1日に、萩の原自主防災会が作成したものです。

ステップ ⑤ まとめ(20分)

参加者が気づいたことを地域へのメッセージとして、まとめてください。

富士市では、DIGを行う自主防災会をバックアップします!

●富士市防災セミナー

自主防災会でDIGを行なっていただくために、富士市防災セミナーではDIGを体験できる回を開催します。

富士市役所消防防災庁舎3階 防災危機管理課 TEL.55-2715まで

●DIG用地図の無償提供

DIGセミナーの受講生に対して、大きな地図を無償で提供します。

非常用備蓄品・非常用持ち出し品

災害から復旧するまでの数日間を支える「非常用備蓄品」と、避難するときに持ち出す「非常用持ち出し品」(必要最低限のもの)に分けて用意しておきましょう。

非常用備蓄品

南海トラフ地震のような大規模災害では、被害が超広域にわたり、国や自治体の支援が遅れることが想定されます。被災後も自宅で生活を送るためにも、水、食料、トイレは7日分以上の備蓄をお願いします

1週間の目安(1人分)

飲料水



1日3リットル×7日
=21リットル

食料



3食×7日=21食

カセットコンロ・カセットボンベ



あたたかい食事を調理するため備蓄していくとよいでしょう。

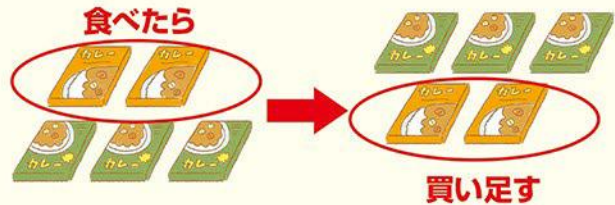
ボンベ1本で1.5リットルのお湯が約10回つくれます。

ローリングストック法(回転備蓄)

日常使う食材や非常用の食料品を、消費しながら備蓄していく方法。また、古いものから先に使うように収納を工夫すると上手に循環できます。

■食料品の一例

レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、パスタ類、調味料、乾物、根菜類(常温で保存できる野菜)、ドライフルーツなど…



携帯トイレの準備はできていますか?

大規模地震が発生すると、建物への被害はなくても、上・下水道管の破損等により、水洗トイレが使えなくなります。無理に水を流すと、トイレが詰まったり汚水が逆流したりすることがありますので、各家庭で携帯トイレを用意しておきましょう。携帯トイレはホームセンター等で購入できます。

■携帯トイレの使い方



■最低1週間分を用意しよう!



非常用持ち出し品

準備できたものに☑を入れてみましょう。

災害時にすばやく避難できるように非常用持ち出し品(必要最低限のもの)の準備をしましょう。日ごろから点検を行い、いざという時に持ち出せるように、リュックサックなどに入れて準備しておきましょう。

◎懐中電灯など

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- ライター・マッチ



◎非常食・水

- 飲料水
- 乾パン・クラッカー
- アルファ米
- 缶詰・レトルト食品



◎医療品など

- 救急セット
- 常備薬
- お薬手帳
- マスク
- 生理用品



◎衣類

- 衣類
- ハンカチ・タオル
- 軍手・手袋
- 雨具



◎貴重品

- 現金(小銭も)
- 預貯金通帳
- 印鑑
- 保険証
- 免許証



◎その他

- 筆記用具
- ビニール袋
- 防災頭巾・ヘルメット
- 予備のめがね
- 歯みがきセット



◆ポイント

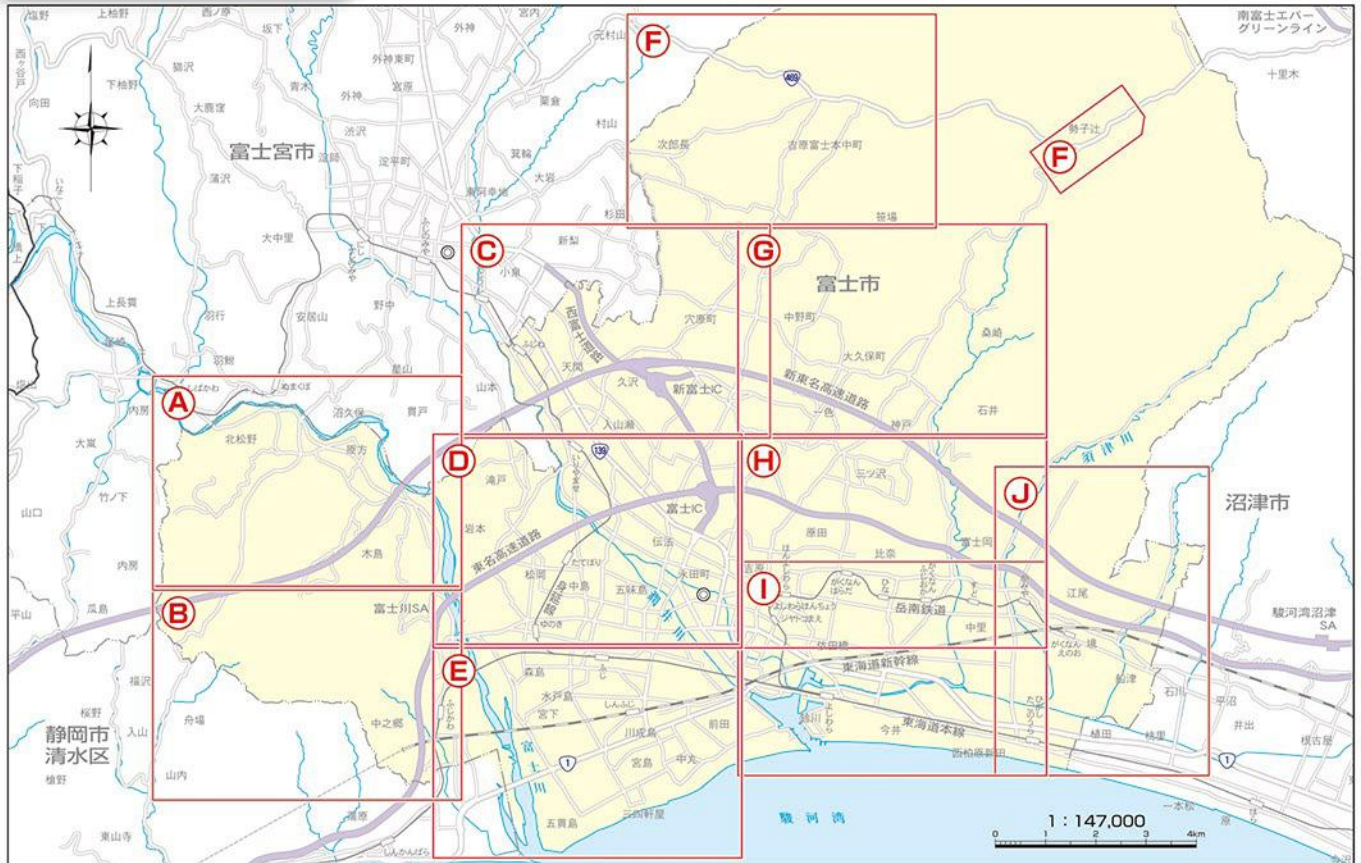
- ◇ 家族全員の目につきやすい場所に置き、すぐに持ち出せるようにしましょう。
- ◇ 家族構成等を考えて、必要な分だけ用意しましょう。欲張りすぎると、避難が大変になります。
- ◇ ラジオは、正しい情報を得るために必要です。予備の電池は多めに用意しておきましょう。

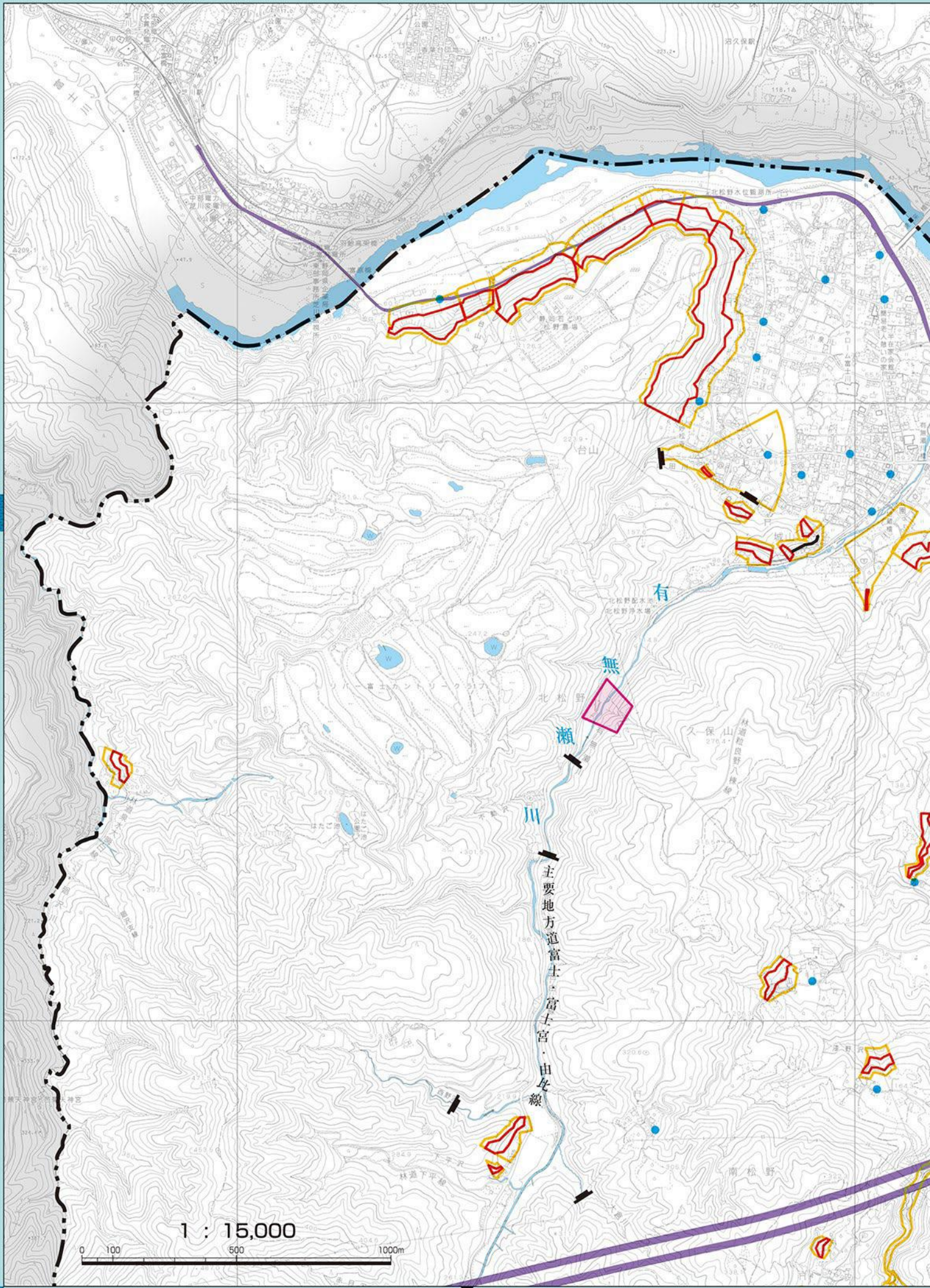


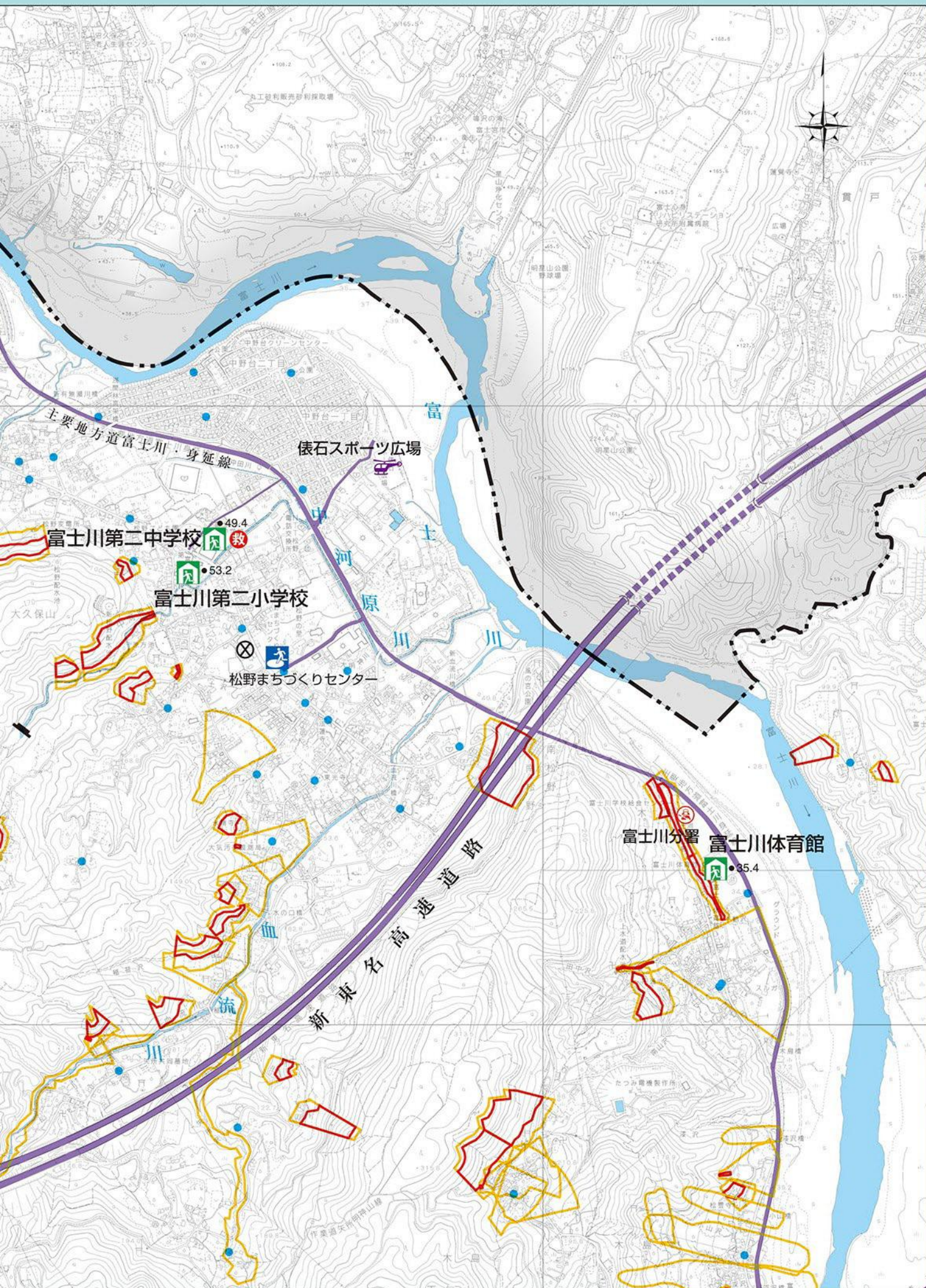
※この危険箇所は、地形解析及び現地調査によって把握されたものです。
マップに表示している場所以外でも災害が発生する可能性があります。

	凡 例	Legend(英語)	Modelo(ポルトガル語)
	消防署・消防署分署	Fire Station / Fire Station Branch	Quartel dos Bombeiros / Posto do Corpo de Bombeiros
	警察・交番・駐在所	Police station / Police box	Polícia / Posto Policial
	救護病院	First-aid hospital	Pronto Socorro
	救護所	First-aid station	Posto de Primeiros Socorros
	早期避難場所(風水害)	Early refuge area (for storm and flood)	Área para pré-evacuação (Danos causados pelo vento e inundações)
	避難場所・避難所	Refuge area・Evacuation center	Área de refúgio・Abrigo
	洪水時車いっとき避難場所	Temporary evacuation parking place at times of flood	Na hora da enchente, o carro será um abrigo temporário
	広域避難地	Wide-area refuge point	Área de Refúgio (de grande extensão)
	津波避難ビル・津波避難タワー	Tsunami evacuation tower	Torre de refúgio de Tsunami
	福祉避難所	Welfare refuge station	Local de Refúgio (de Bem Estar)
	緊急物資集積所	Emergency supplies storage point	Depósito de Suplementos de Emergência
	緊急輸送路	Emergency transport route	Rota de Emergência
	ヘリポート	Heliport	Heliporto
	防火水槽・自然水利	Fire-fighting water tank	Reservatório de Água de Combate ao Fogo
	水門・陸閘	Earthquake-resistant floodgate	Comporta à prova de Terremoto
	海拔	Above sea level	Altitude
	自衛隊集結地	Self-Defence Forces assembly area	Área de Concentração das Tropas de Auto-defesa
	砂防堰堤	Debris slide barrier	Barreira contra erosão
	急傾斜地崩壊防止施設	Landslide prevention installations on steeply inclined land	Equipamento de proteção contra o desmoronamento devido a inclinação repentina do solo
	土石流危険渓流	Debris slide high-risk stream	Área com perigo de deslizamento de terra e pedras no córrego da montanha
	急傾斜地崩壊危険箇所	Landslide danger spot on steeply inclined land	Área com perigo de desmoronamento devido a inclinação repentina do solo
	土砂災害特別警戒区域	Debris slide and landslide special prevention zone	Zona com precaução especial de calamidade de terra e area
	土砂災害警戒区域	Debris slide and landslide prevention zone	Zona com precaução de calamidade de terra e area
	5.0~10.0m	Depth of flooding: 5.0m to 10.0m	Previsão de inundação em caso de maremoto: de 5.0m~10.0m
	3.0~5.0m	Depth of flooding: 3.0m to 5.0m	Previsão de inundação em caso de maremoto: de 3.0m~5.0m
	2.0~3.0m	Depth of flooding: 2.0m to 3.0m	Previsão de inundação em caso de maremoto: de 2.0m~3.0m
	1.0~2.0m	Depth of flooding: 1.0m to 2.0m	Previsão de inundação em caso de maremoto: de 1.0m~2.0m
	0.3~1.0m	Depth of flooding: 0.3m to 1.0m	Previsão de inundação em caso de maremoto: de 0.3m~1.0m
	バッファゾーン(浸水想定区域から50m)	Buffer Zone (50m from Tsunami inundation risk area)	Zona Intermediária (50m da área estimada de inundação por Tsunami)

索引 図







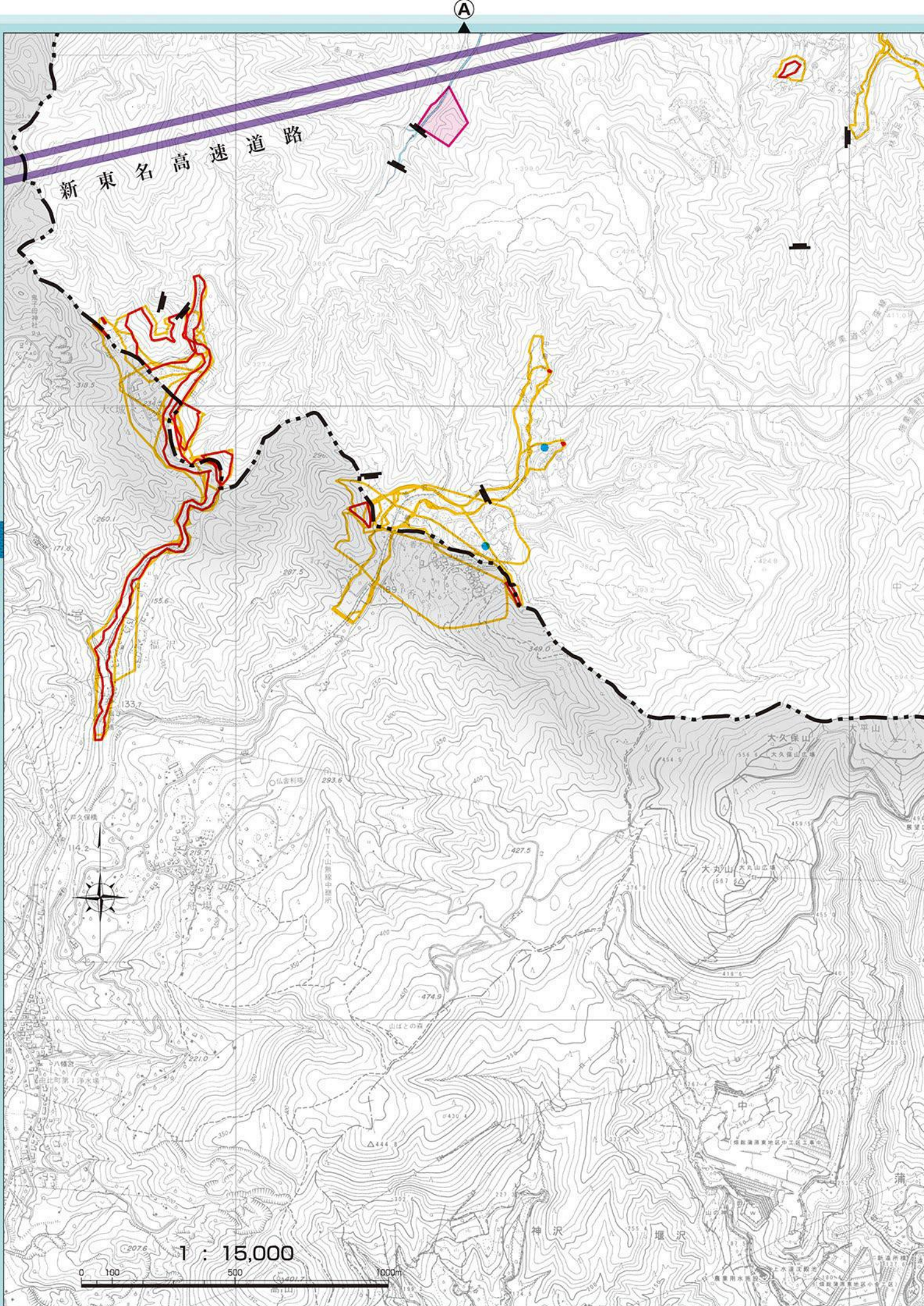
③

III

防災マップ①A

②

①B



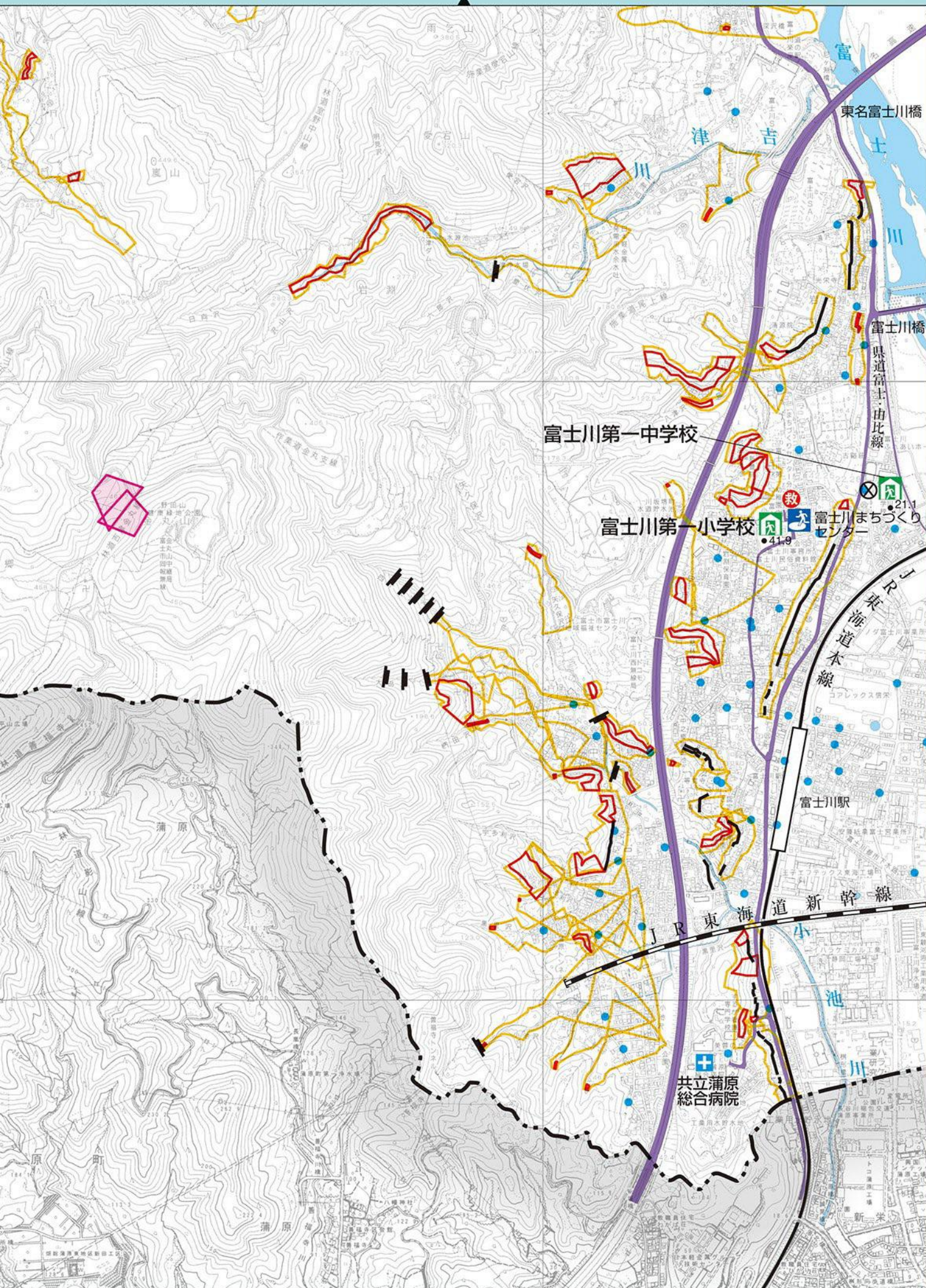
A

新東名高速道路



1 : 15,000
0 100 500 1000m

A

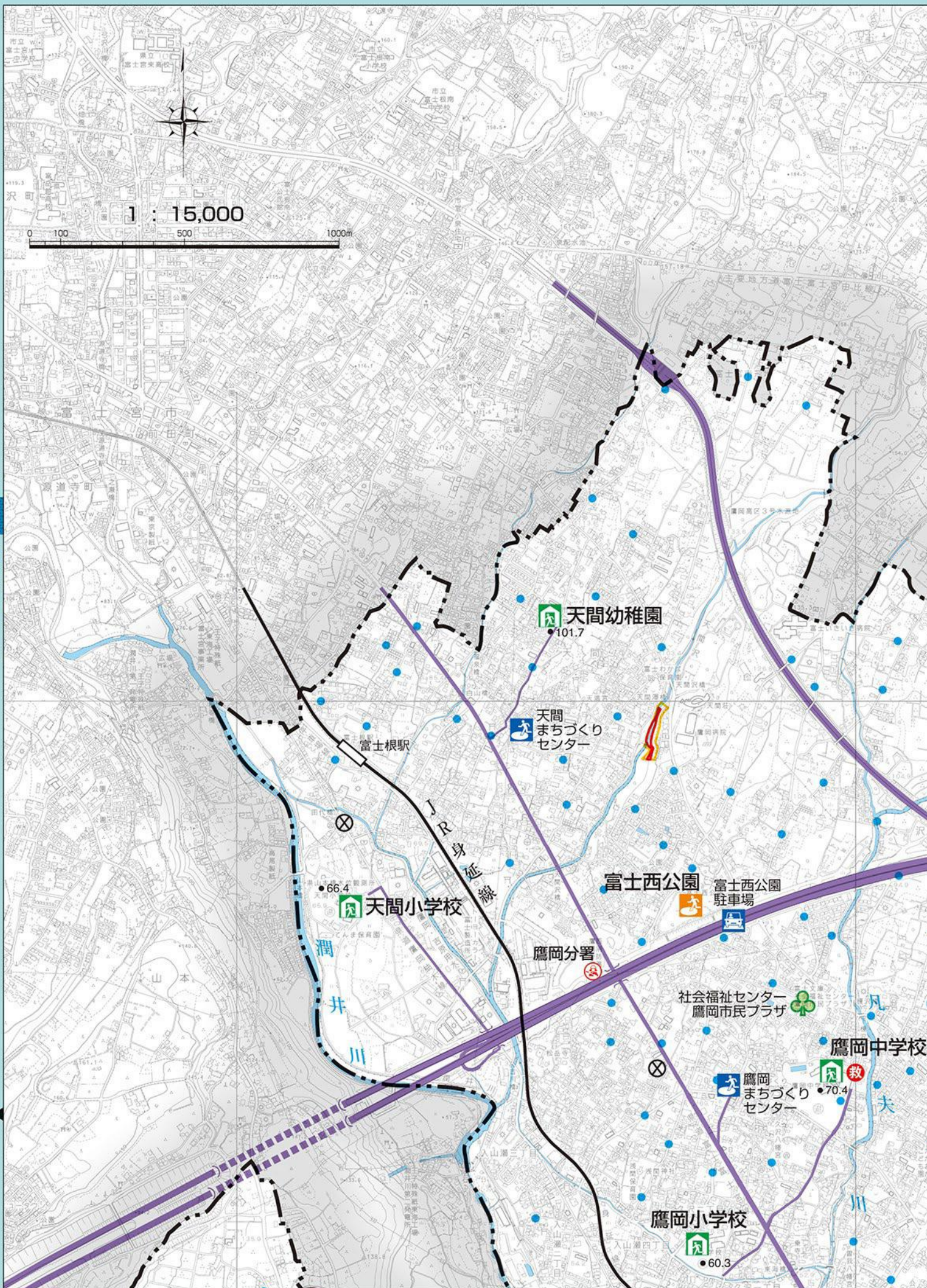


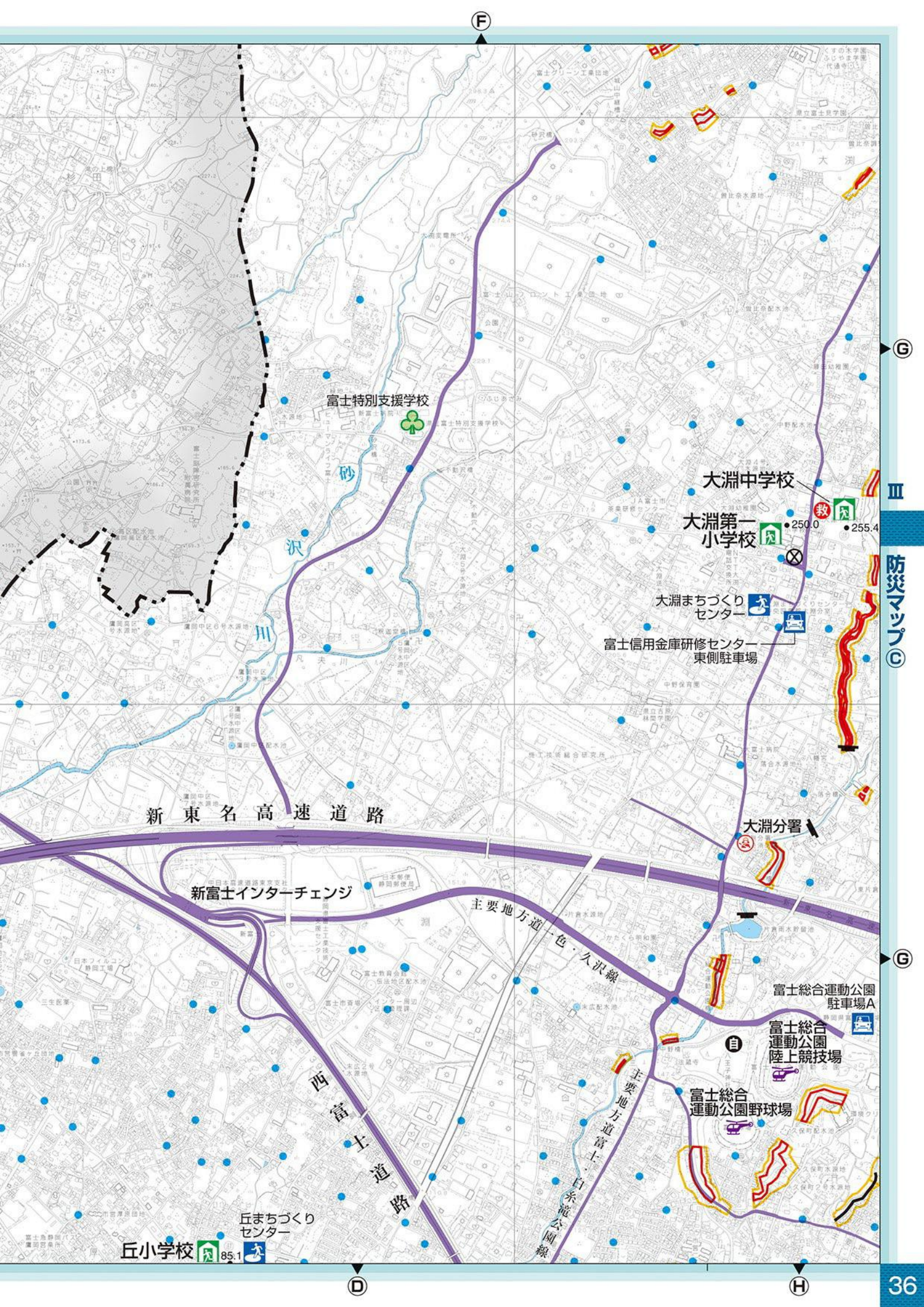
D

III

防災マップB

E





新東名高速道路

新富士インターチェンジ

西富士道路

丘小学校 85.1

大淵中学校

大淵第一小学校

大淵まちづくりセンター

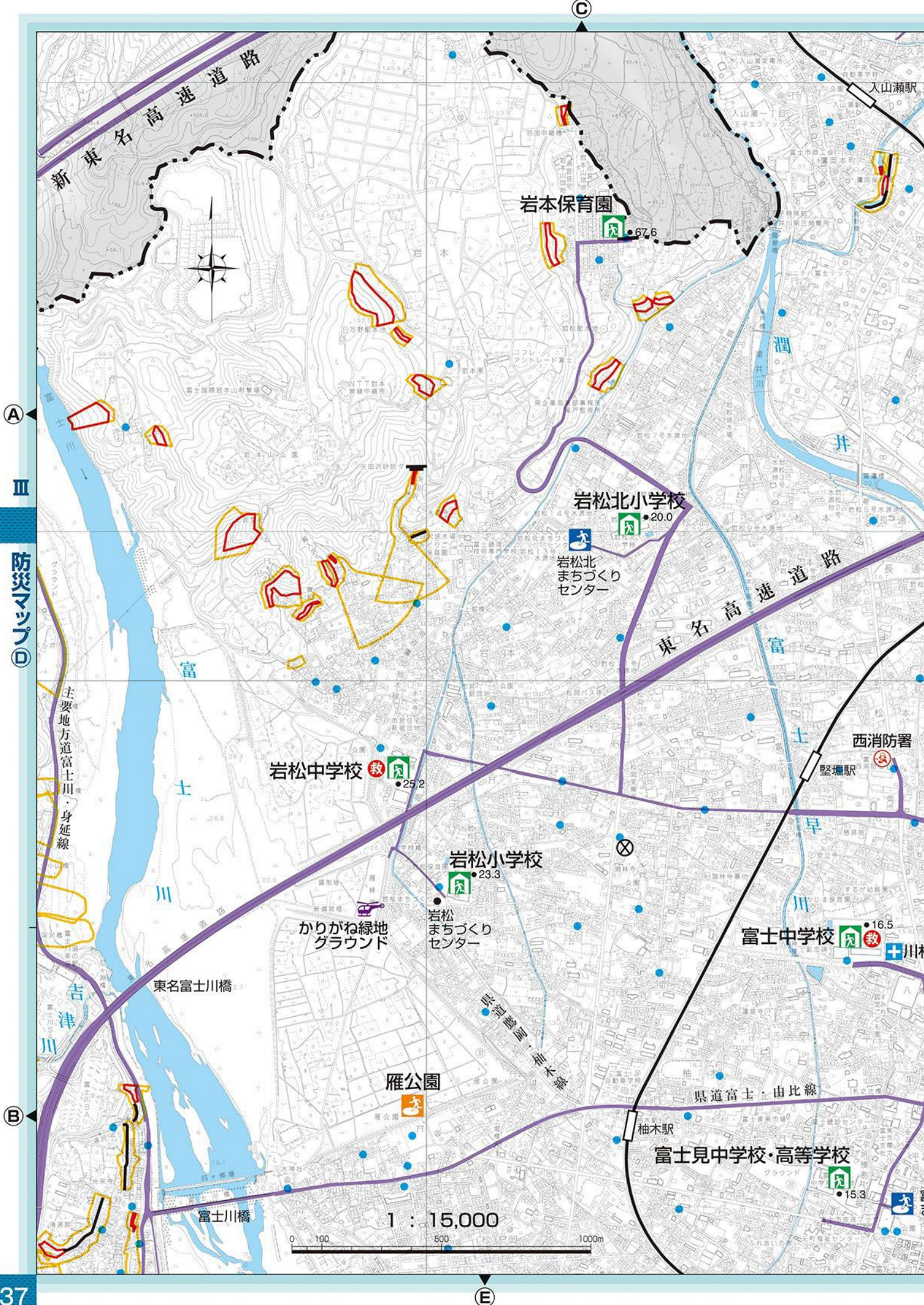
富士信用金庫研修センター
東側駐車場

大淵分署

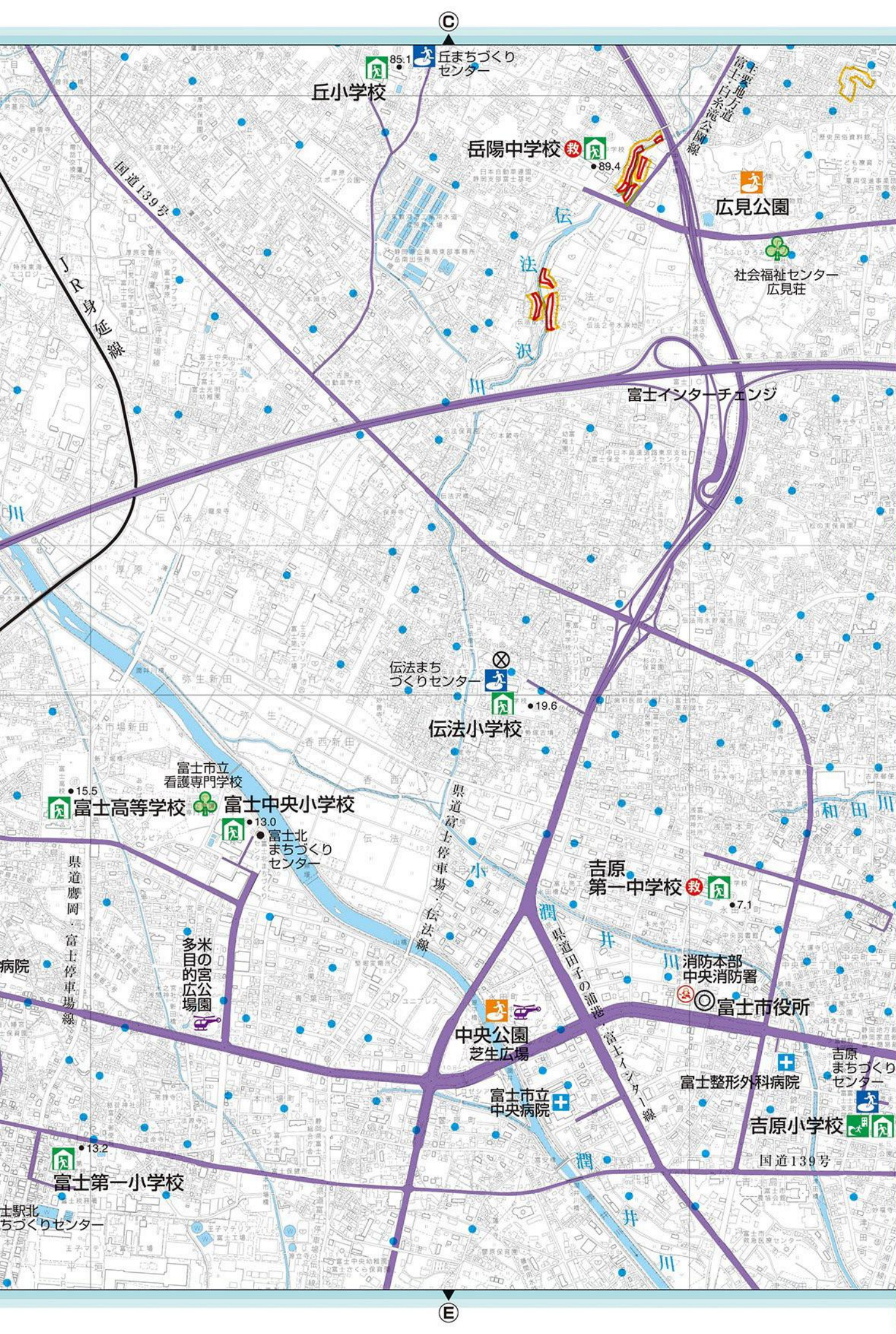
富士総合運動公園
駐車場A

富士総合運動公園
陸上競技場

富士総合運動公園
野球場



III
防犯マップ



丘小学校

丘まちづくりセンター

岳陽中学校

広見公園

社会福祉センター
広見荘

富士インターチェンジ

伝法まちづくりセンター

伝法小学校

富士市立
看護専門学校
富士高等学校
富士中央小学校

富士北
まちづくり
センター

県道富士
停車場
伝法線

吉原
第一中学校

消防本部
中央消防署

富士市役所

中央公園
芝生広場

富士整形外科病院

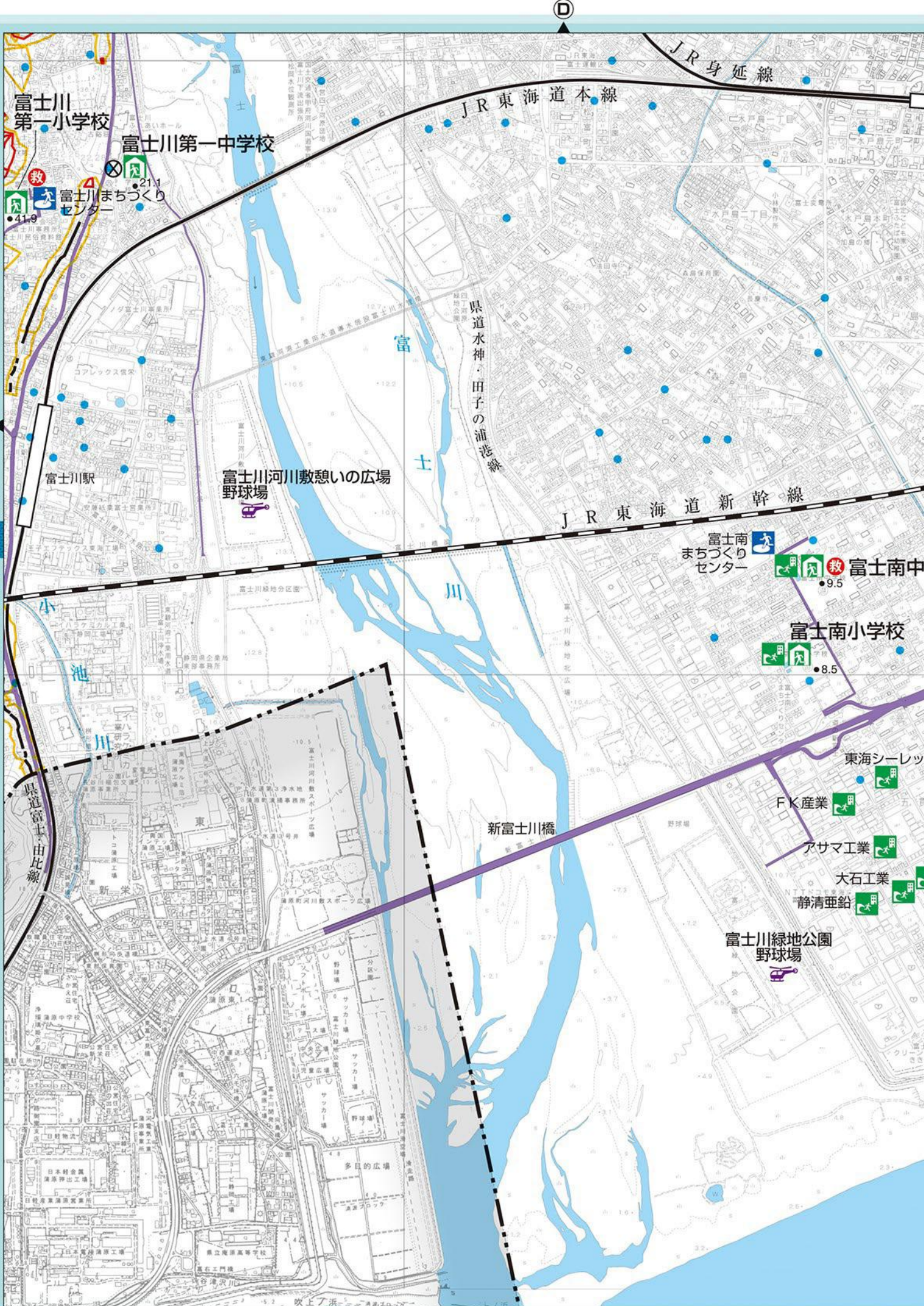
吉原
まちづくり
センター

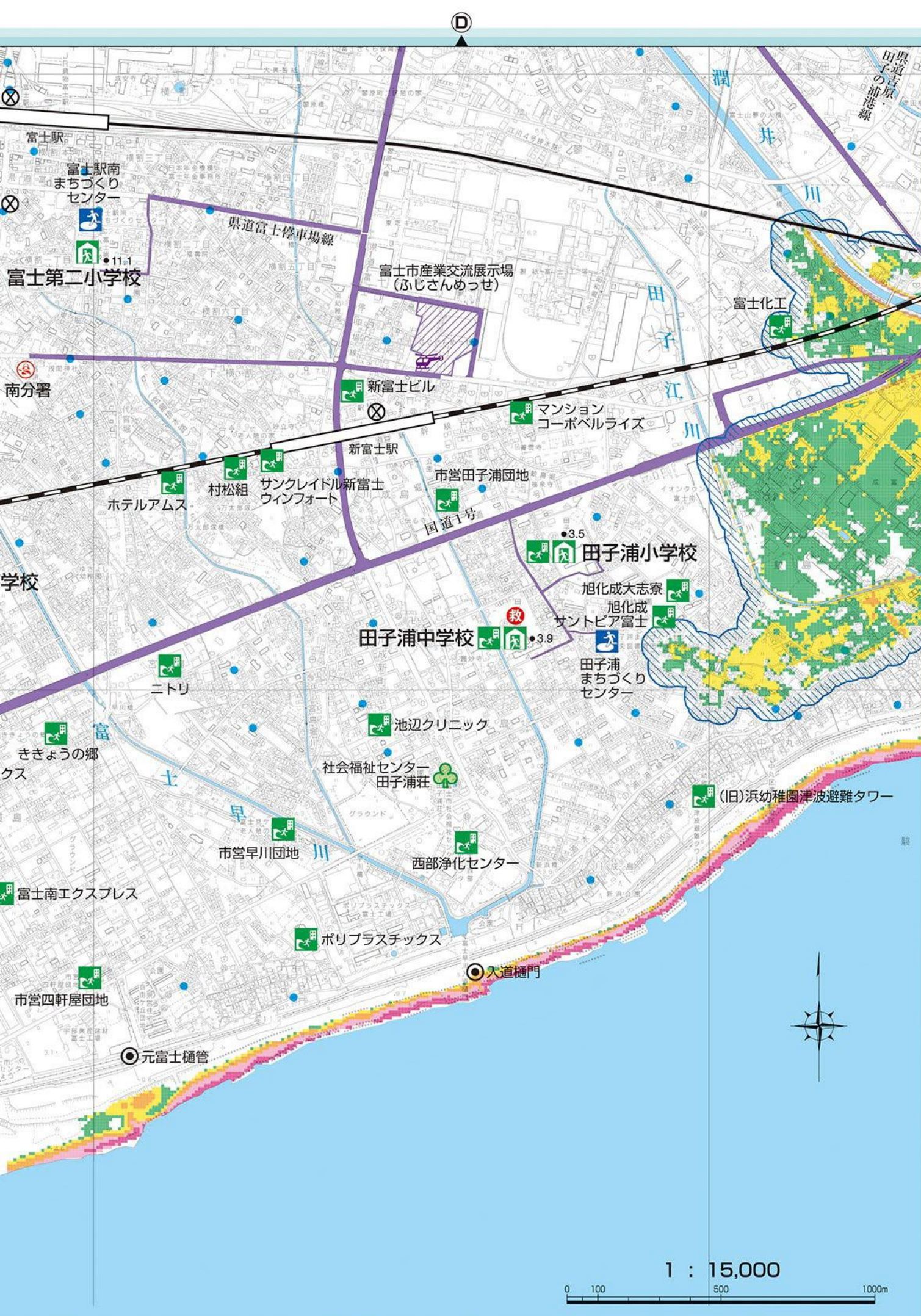
富士市立
中央病院

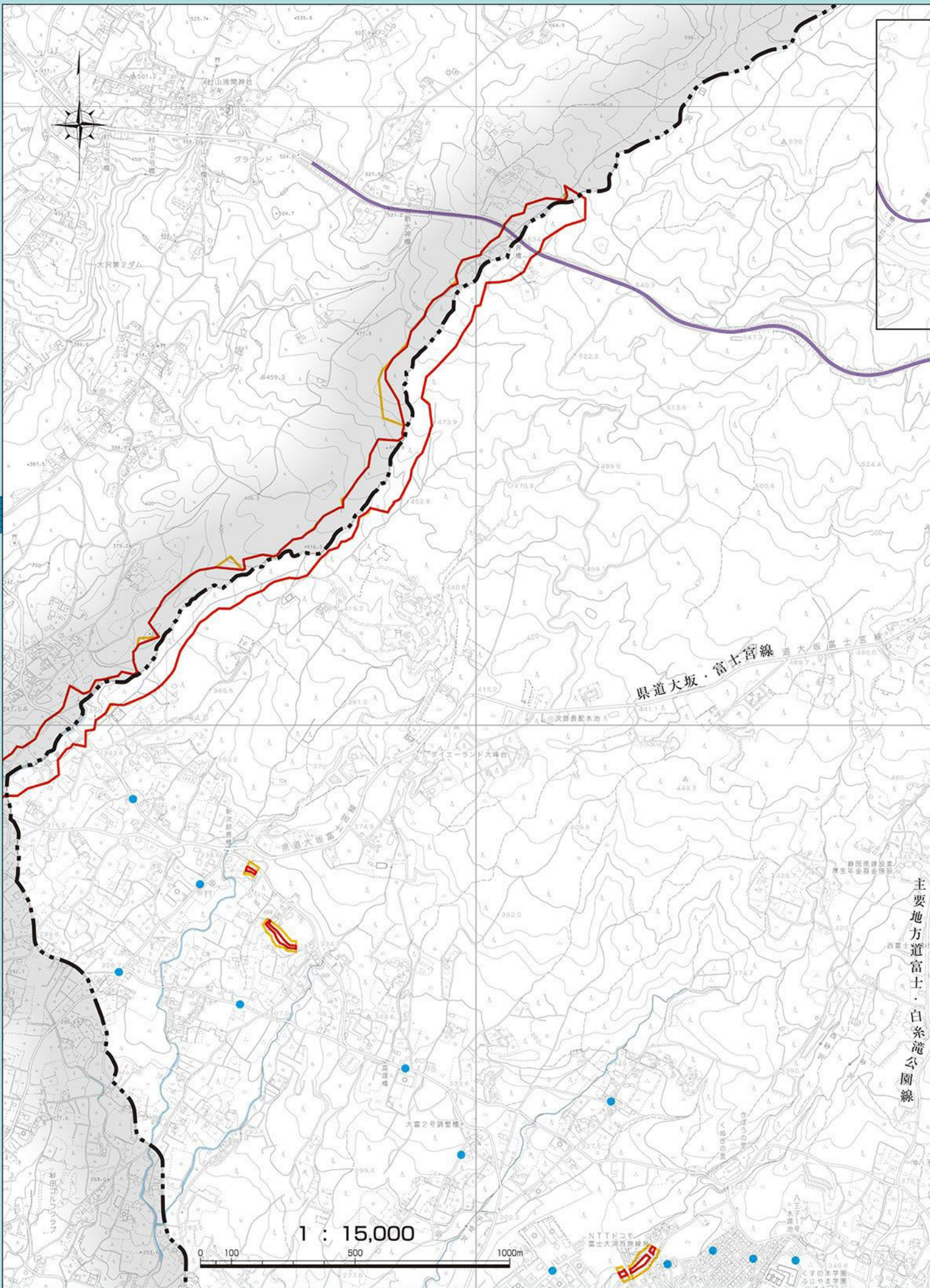
吉原小学校

富士第一小学校

国道139号



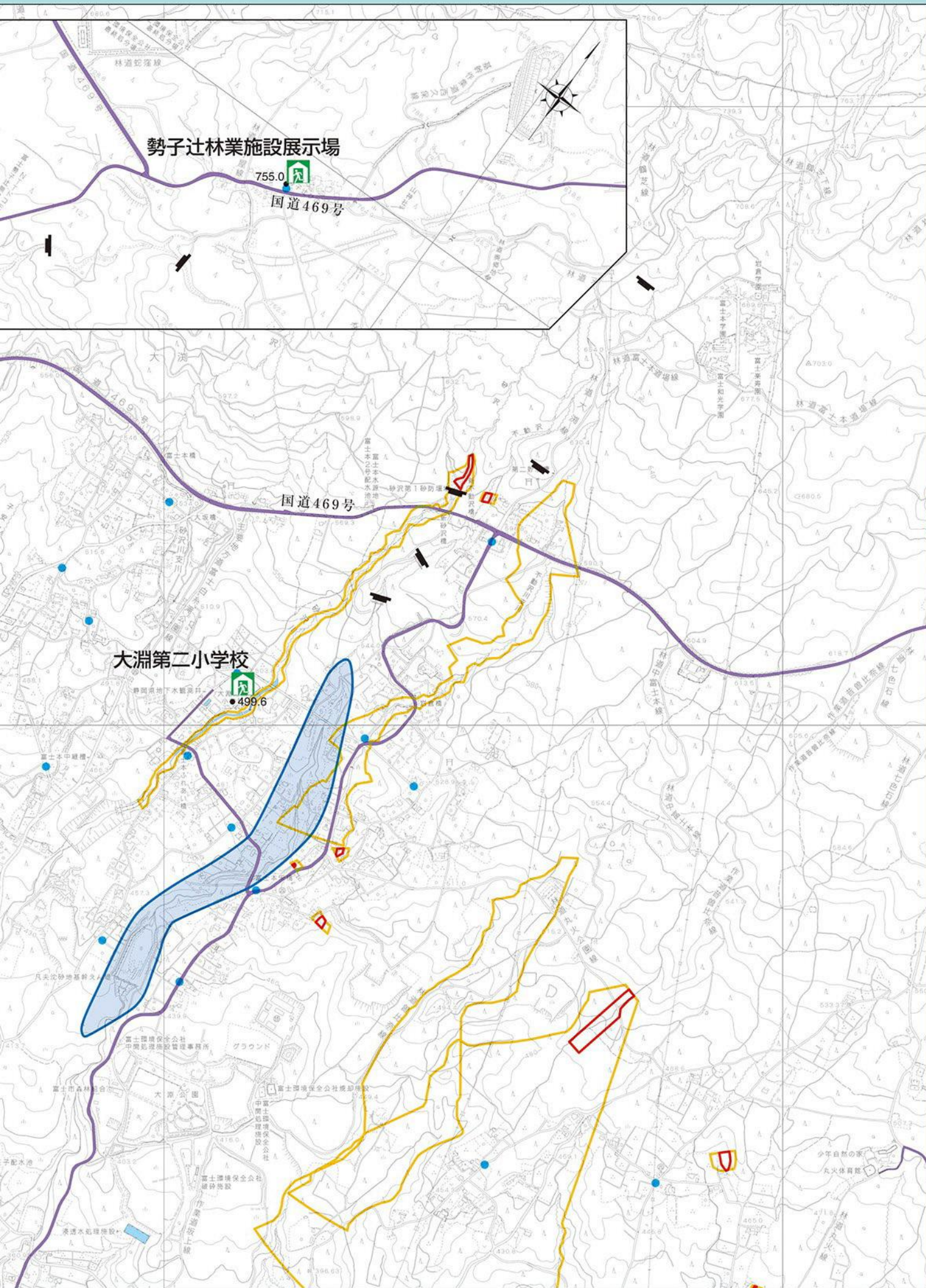


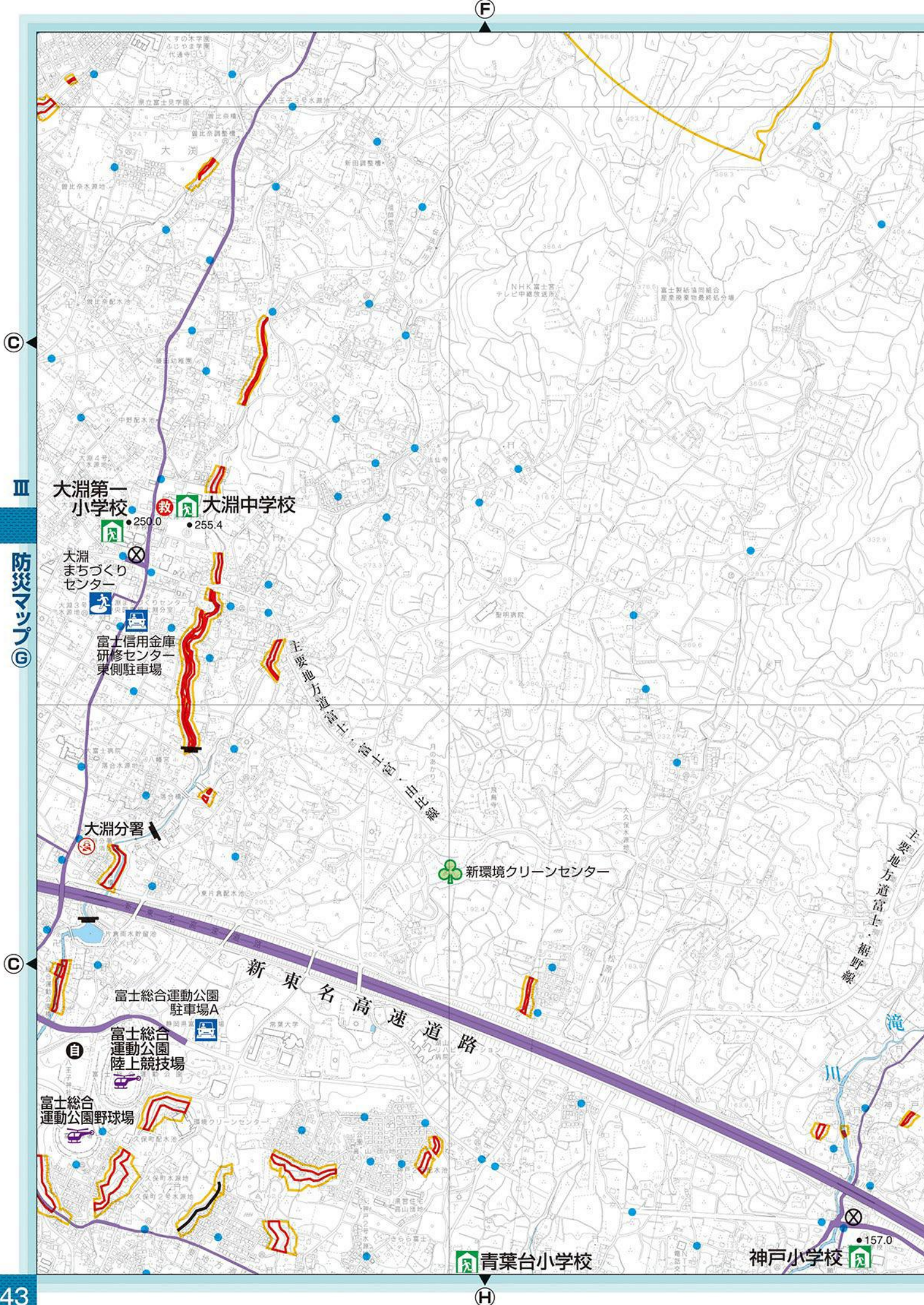


主要地方道富士・白糸滝公園線

1 : 15,000

0 100 500 1000m





大淵第一小学校
大淵中学校

大淵まちづくりセンター
富士信用金庫
研修センター
東側駐車場

主要地方道富士・富士宮・山出線

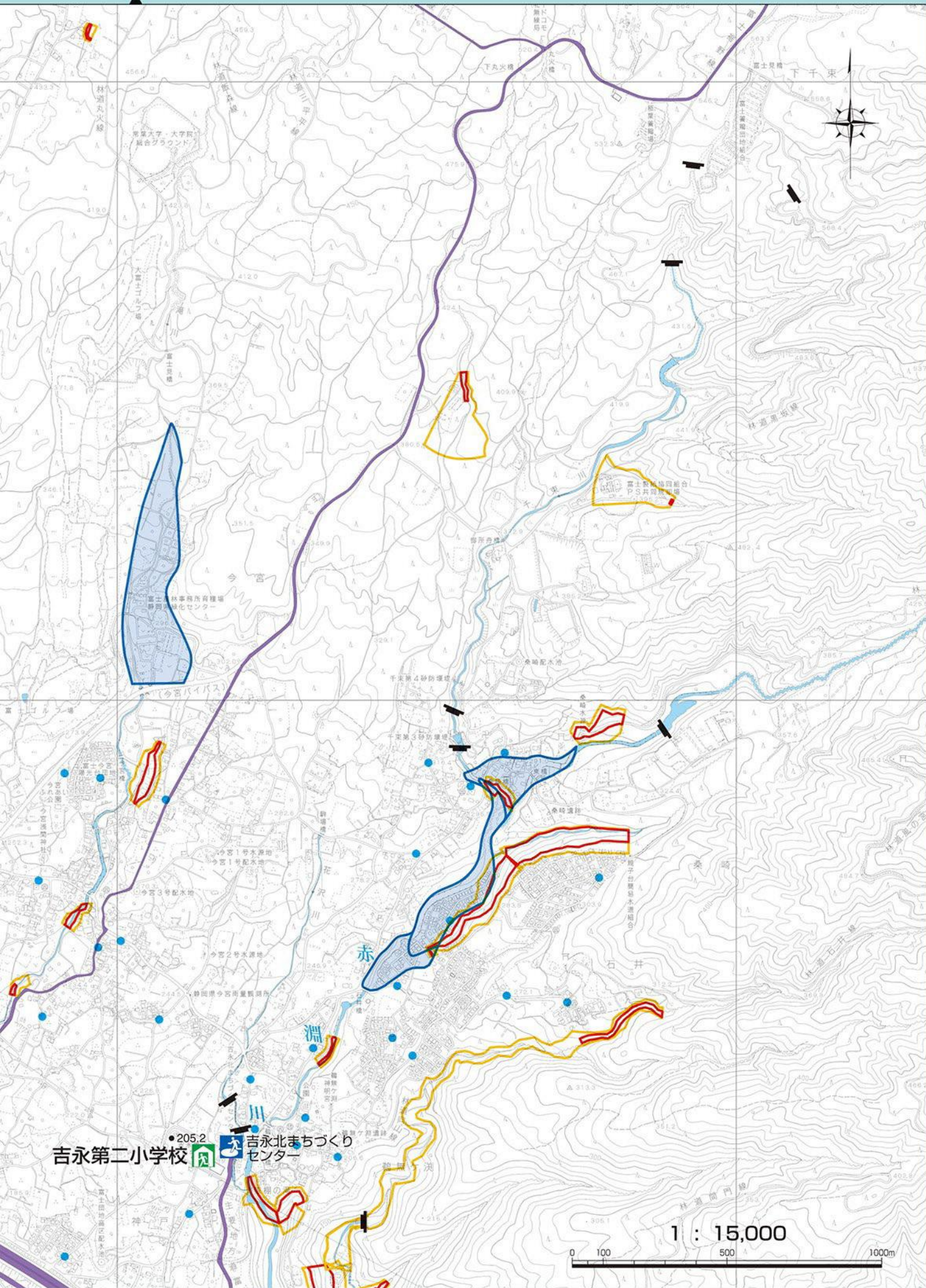
新環境クリーンセンター

新東名高速道路

富士総合運動公園
駐車場A
富士総合運動公園
陸上競技場
富士総合運動公園
野球場

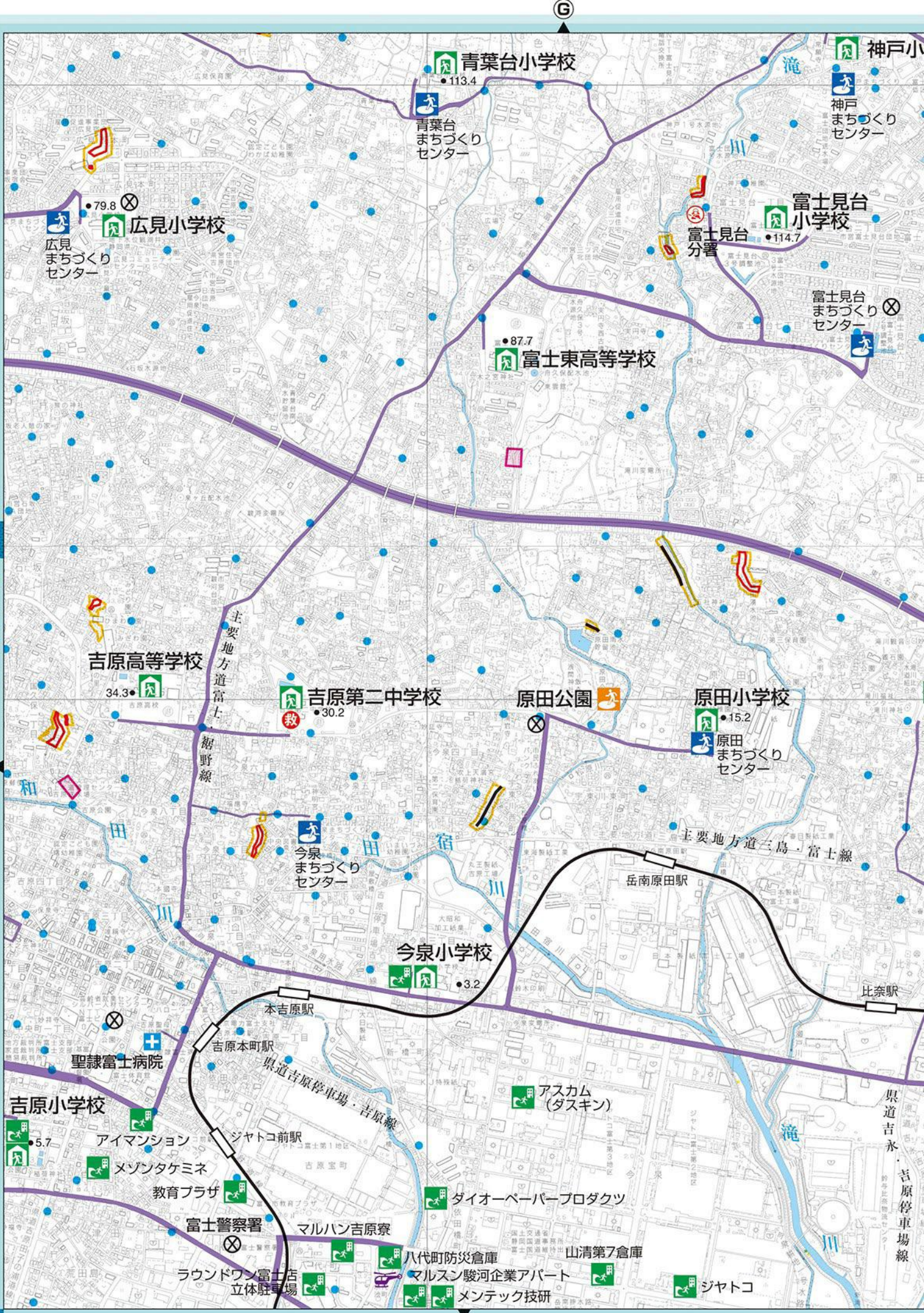
青葉台小学校

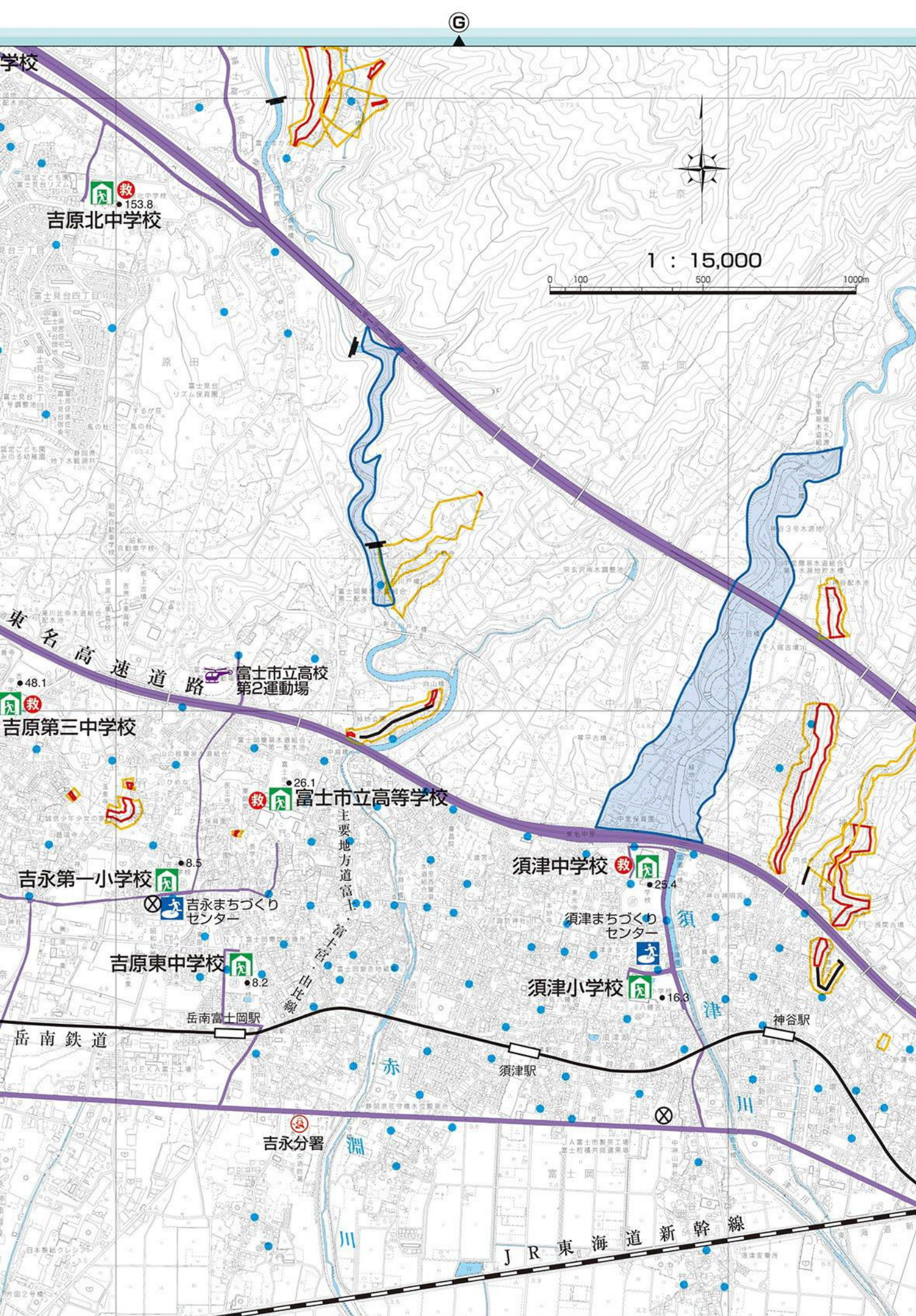
神戸小学校

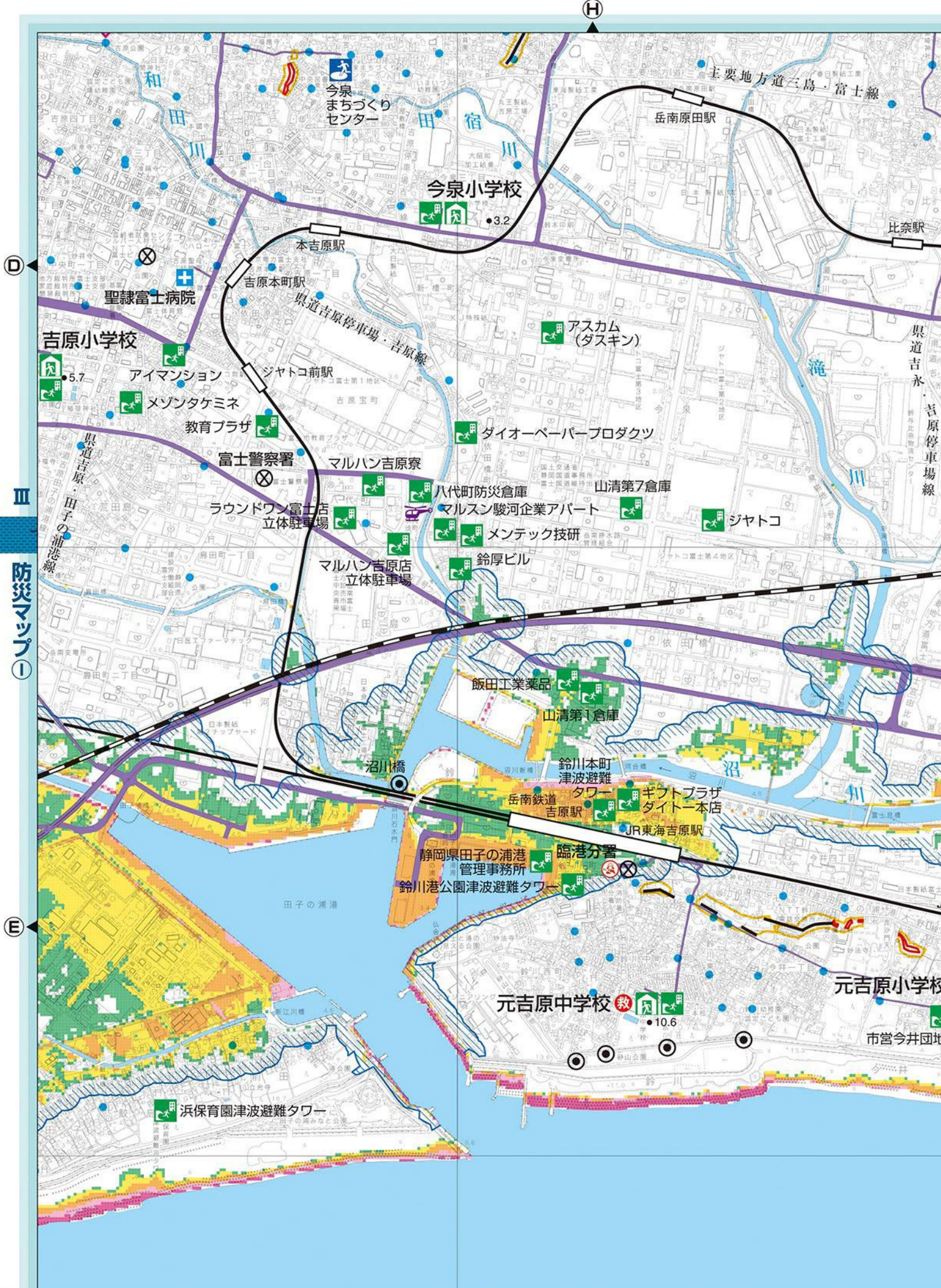


● 205.2
 吉永第二小学校
 吉永北まちづくりセンター

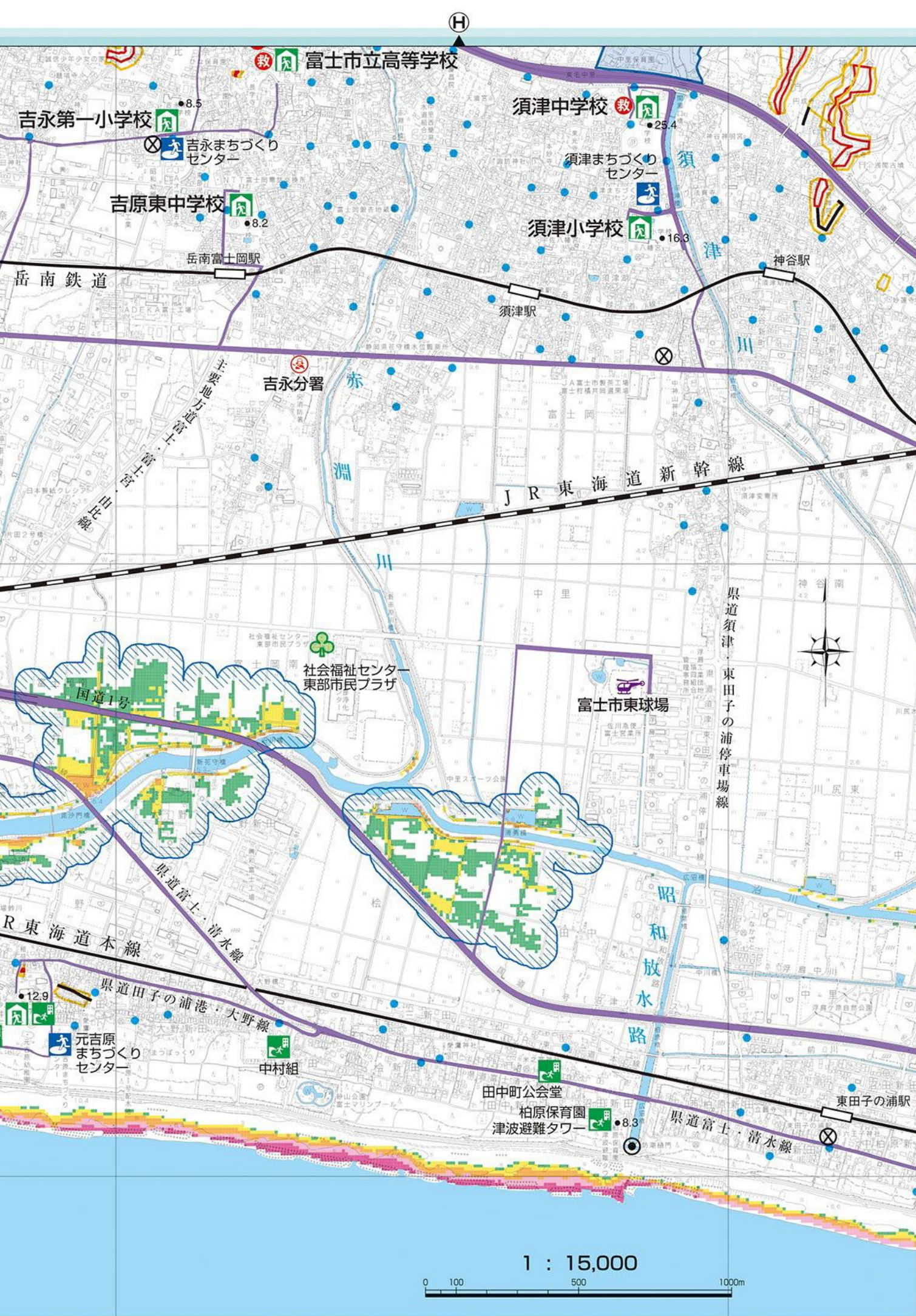
1 : 15,000
 0 100 500 1000m

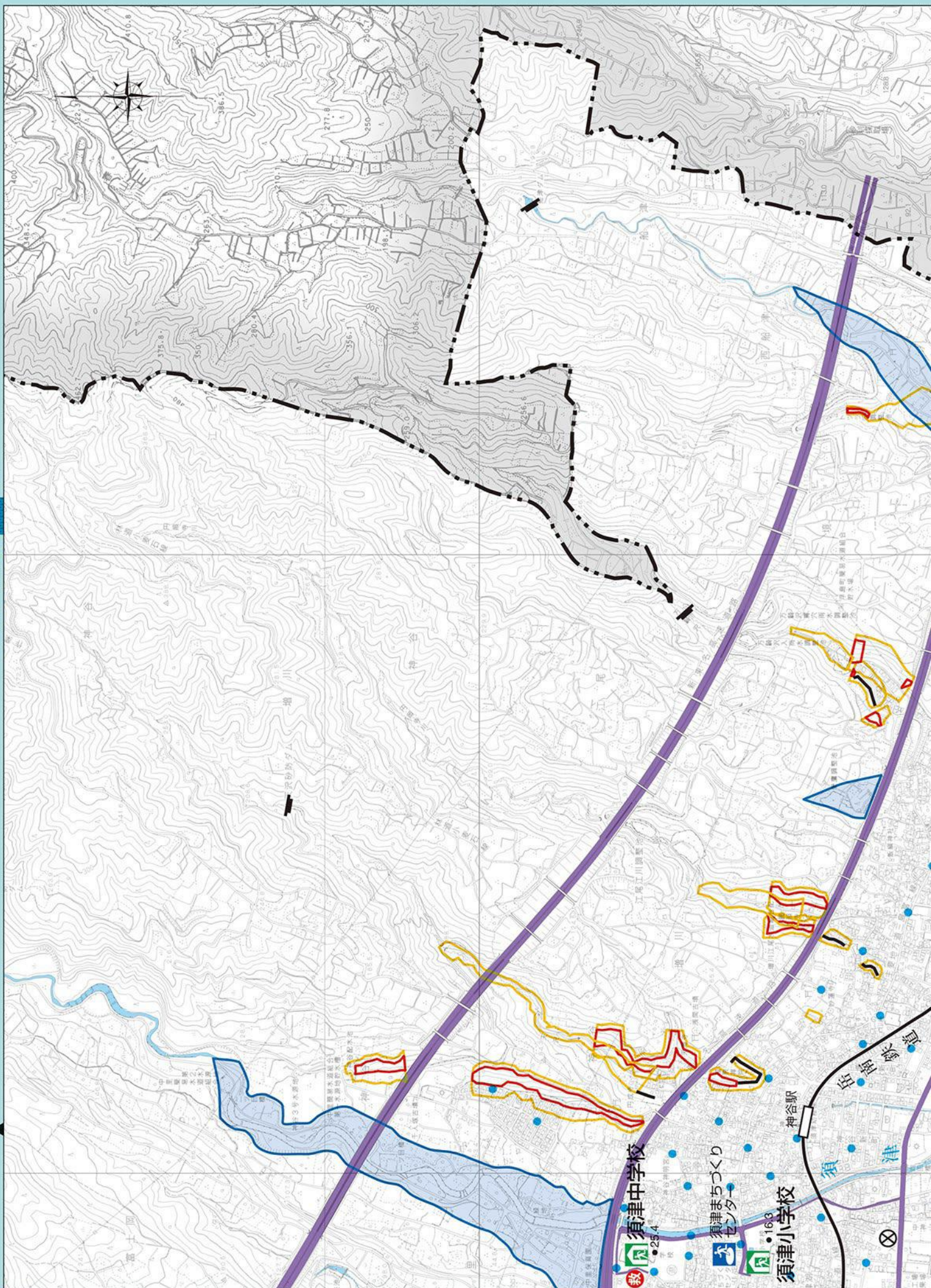






III
防災マップ①

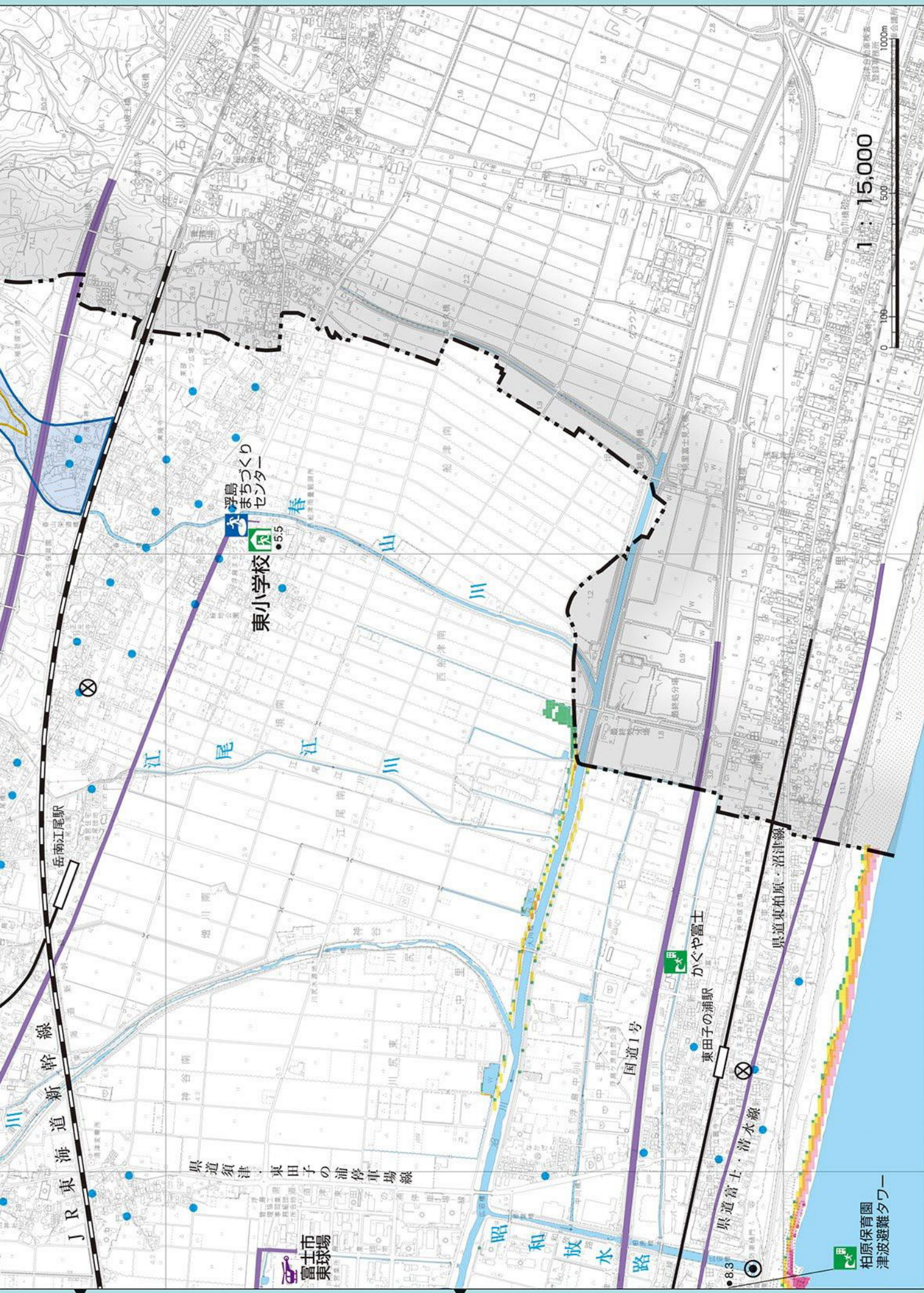




H

H

I



災害用伝言ダイヤル「171」

災害伝言ダイヤルは、電話を利用して被災地の方の安否情報を確認する「声の伝言版」です。

*携帯電話やPHS等は、ご利用の通信事業者へ確認をお願いします。

*災害用伝言ダイヤルの開始はテレビ・ラジオなどで通知されます。

*体験利用日

- 毎月1日及び15日、正月三が日、(防災週間(8月30日9時~9月5日17時)、防災とボランティア週間(1月15日9時~1月21日17時))
- 体験利用の場合であっても、通信料は発生します。

NTT西日本 災害用伝言ダイヤル
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

伝言の録音方法

171をダイヤル

ガイダンスが流れます

1 (暗証番号を利用する場合は**3**)

ガイダンスが流れます

(XXXX)XX-XXXX

被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンスが流れます

録音 (30秒以内でお話ください)

録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。

伝言の再生方法

171をダイヤル

ガイダンスが流れます

2 (暗証番号を利用する場合は**4**)

ガイダンスが流れます

(XXXX)XX-XXXX

ガイダンスが流れます

伝言再生

災害用伝言板

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、各携帯電話事業者が運用する「災害用伝言板」を使って安否情報を登録・確認することができます。それぞれの携帯電話の「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択してください。

*被災地の方のメッセージを検索する際は、全ての携帯電話会社で「全社一括検索」に対応しているため、相手方の携帯電話会社を気にする必要がありません。

災害用伝言板の使い方は各社のウェブサイトでご確認ください。

NTTドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>

KDDI (au) <http://www.au.kddi.com/notice/dengon/>

ソフトバンク <http://mb.softbank.jp/mb/information/dengon/index.html>

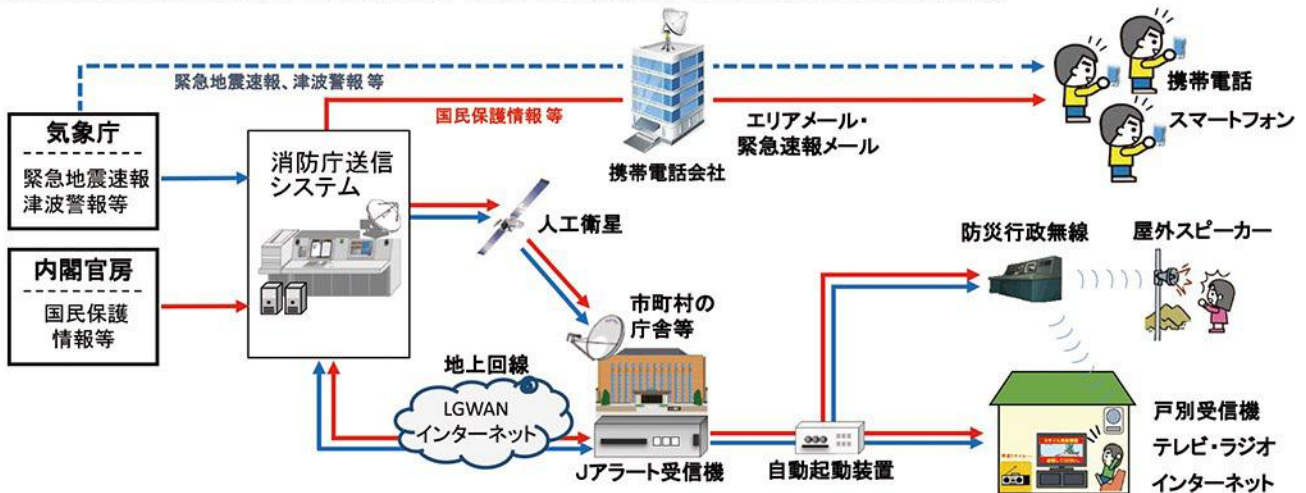
ワイモバイル <http://www.ymobile.jp/service/dengon/>

災害用伝言板体験デー

毎月1日と15日・正月三が日
 「防災週間」(8/30~9/5)
 「防災とボランティア週間」(1/15~1/21)

全国瞬時警報システム(J-アラート)

J-アラートは、弾道ミサイルの情報や緊急地震速報、津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、国から住民まで瞬時に伝達するためのシステムです。日頃から、災害情報を収集する方法を確認しておきましょう。



富士市防災マップ

編集 / 発行: 富士市総務部防災危機管理課
 地図調製・印刷: (株)中央ジオマテックス
 令和3年3月 第4版